



Itsuwari
no
Kangan

偽
り
の
宦
官

偽りの宦官

CONTENTS

かん がん マ シリョウ
宦官 馬士良

3

にせ かん がん ヤン ネイ
偽宦官 揚寧

前編

27

にせ かん がん ヤン ネイ
偽宦官 揚寧

中編

55

にせ かん がん ヤン ネイ
偽宦官 揚寧

後編

79

かん がん や わ
宦官夜話

99

かん がん おほえ がき
宦官覚書

111

宦官…かんがん

去勢した男子で、
宮廷・後宮に仕える者。

美しい容姿・髪・仕草を持つ者、
はっきりした滑舌で美声である者、
機転が利く者 等が選ばれた。

彼らは王の私的な奴隷であり、
その処遇は王の機嫌次第だった。

寵を得れば富と権力を授かり、
不興を買えば死を賜った。

後悔しないか
後悔不後悔？

後悔なんか…

するに
決まってるだろッ!!

馬士良 マシリョウ
十四歳にして
淨身(去勢) シンペイ——…

晴れて
宦官の
仲間入りをし

鐘鼓司しょうこしの学芸官…
劇や歌を披露する
役に就いた

海燕カイエン！
起きろ！

…燕エン！

…
アニキ
二哥？



たまには
自分で起きろ！

俺だって
眠いんだぞ



唉

「へい」じゃない
返事は「はい」！

はい
嘘！



きゅん
きゅん

……



美しく
ないと思おう

……全く
なんで
こんな奴が
宦官に登用
されたんだろ



シリョウ
士良

新しく入った
海燕だ

よく面倒を
見てあげなさい

はい
嘘ッ！

よくよく俺にも

お

めく
めく
弟分が

俺の事は
二哥アニキって呼べ

他の先輩の事は
大哥アニキって
呼ぶんだぞ！

唉あーっ

「へい」じゃない
返事は「はい」！

嘘うそ！

あー
気分いい

これから
嫌な事
全部こいつに
やらせれば
いいんだし

楽になるぞうっ

：とと思ってた
時期が俺にも
ありました

ホラ早く
顔洗っちゃえ

ちべたいよオ...

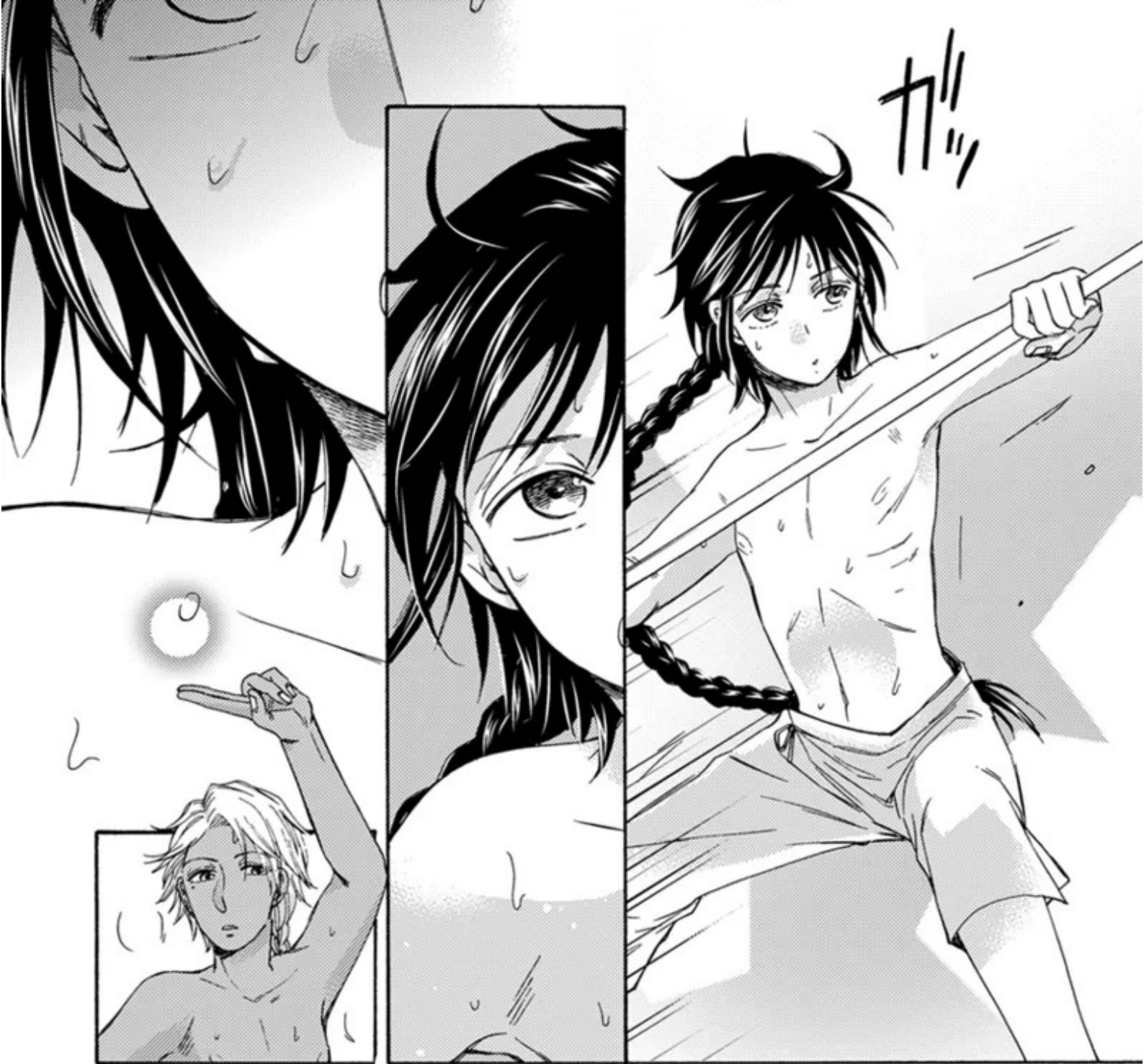
遅いぞ
お前ら！

皆もう
始めてるぞ

申し訳
ありません！



もう
夜明けか...



あっ...

ポッ



勿体無い……



冷た〜い…

腹減ったな！



シリオウ
士良ボーツと
するな！

俺の指導は
退屈かつ!?



真面目に
練習しろ！

は…
はいっ

すみません
兄さん
二哥！



急げ

急げ



おはようございませう
歌得好！

ヤンたいかん
楊太監！



もう
自分で起きて
しまったわ

遅い

※太監…その部署の長。

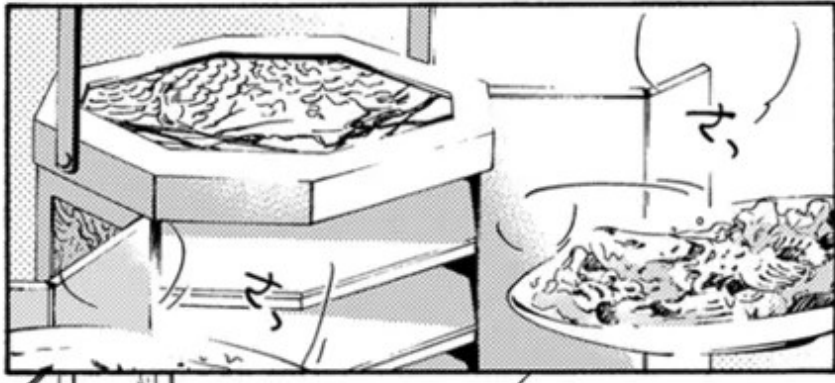


まあ公演ももうすぐだからな

ふん



ほっ



さ、

さ、



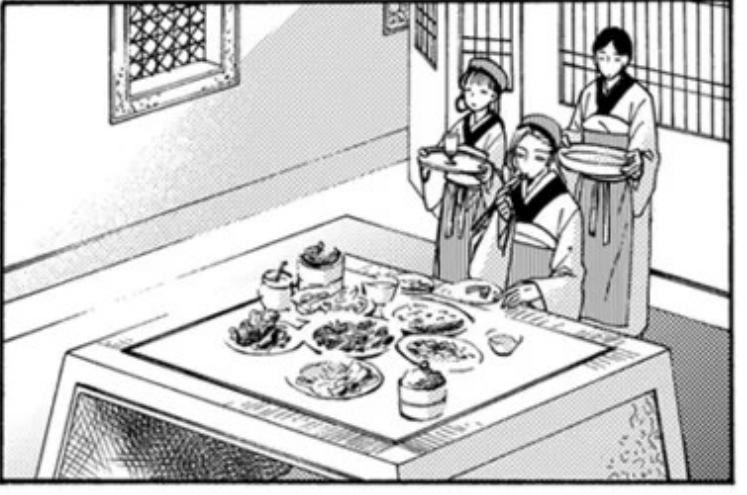
申し訳ありません
太監

皆朝の訓練に
気合が入りすぎて
しまったのです



後は好きに
しなさい

ありがとうございます
ございます！



私は
もういい

ぼたん



ヒッ
ー
カラ

ヒッ
ヤ
ラ

では貴妃様が
妊娠された
というの……

そもそも
ご寝所に
呼ばれておらぬ

うちの部署には
関係の無い事……

うちは困る！
お前の所にも
皺寄せが来るぞ

バカッ

そんなの
どうでもいいよ

眠い

……
海燕！
カイエン

去勢
浄身したなら
出世しろ！

寝るな……

太監がお休みに
なるまで
起きてろ！

おい！
出世しないぞ！

お前には
そういう気概が
足りないな

俺はあそこぞ！

文句無く
美しく舞って

陛下や貴妃様方の
お目に止まって
愛人にもなろう！

愛人に
なったら
なあ…

あつ

あー
あーもー…

無防備な…

シリョウ
士良

ピュッ

………

ズ
ズ…

起こしなさい

あ…

師父吉祥!

はっ
はっ
はいっ

海燕!
…海燕!

やれやれ…

チヲ

…士良

後で
私の部屋に
来なさい

いえ私は…

そのう……

は……

返事は
「嘘」だろう?

士良?

噫^は
…

噫^{はい}
ツ…!!

誰もが
最初は旗持ちだ

辛抱だよ

辛抱…

ましてやお前は
異^{異民族}族

何の役が
やりたいって？

男^{男役}生^{生か}か？
女^{女役}旦^{旦か}か？

い…

いえ私は単に
憧れとして…



は…い

お茶が
入りました

具合は
いかかですか

下手だな

まあ
自分に無いモノの
扱いが
上手いわけも
あるまい

伯父様も
お人が悪い

アレを残す
道があるなら
私も使いたう
ございました

有難う
ございます……

選ばれた者にしか
通れぬ道もある

つと



かばっ

もっ

申し訳
ありません

不得手ですが
頑張りますので…

よい



シリロウ
士良

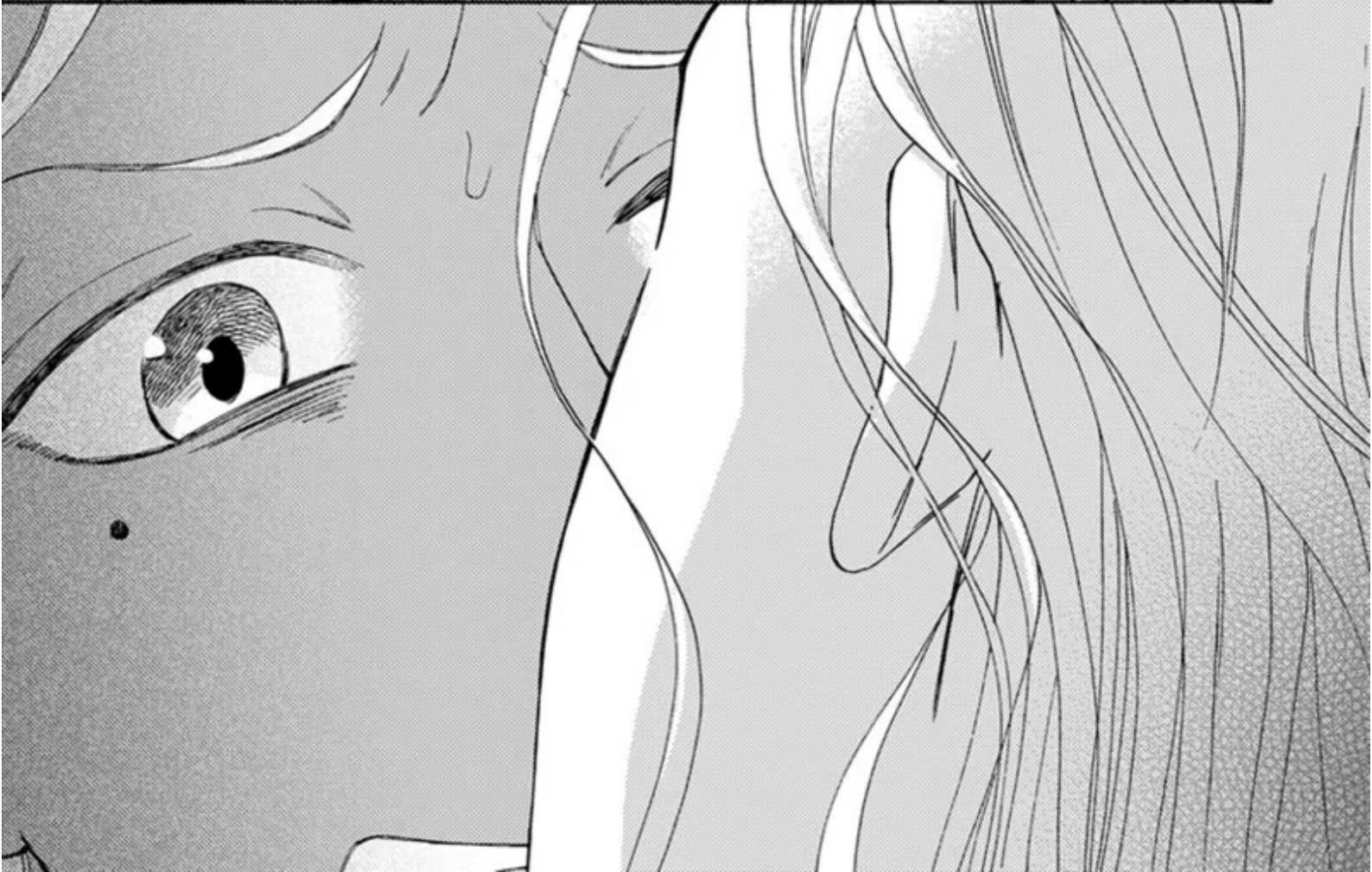
もうよい

えッ



また呼んで
やるから
練習して
おきなさい

シリロウ
士良…





…何をそんなに固くなる

は…いえ

初めての体験で緊張してしまい…



くす
くす



下がちなさい

……
まあいい

おやすみなさいませ…



ほげ?

海燕!

…燕!



俺にキスしろ



どかっ



なんで

とっおまの
キッス顔



お前みたいなの鈍臭いのの面倒見てやってんだ

うるっせーなあ!

そんなら黙ってしろよ!!





し
ぶっ

ちゅう



村の方向に
礼一

おいっ

いい加減に...



おら
恥ずかしい

二兄ちゃん哥と
ちゅうなんて

待って待って
心を落ち着けて〜

じゅっ...

あっ



一瞬じゃん
かよ...!

.....

した



バカが
うつる

いらねえよ

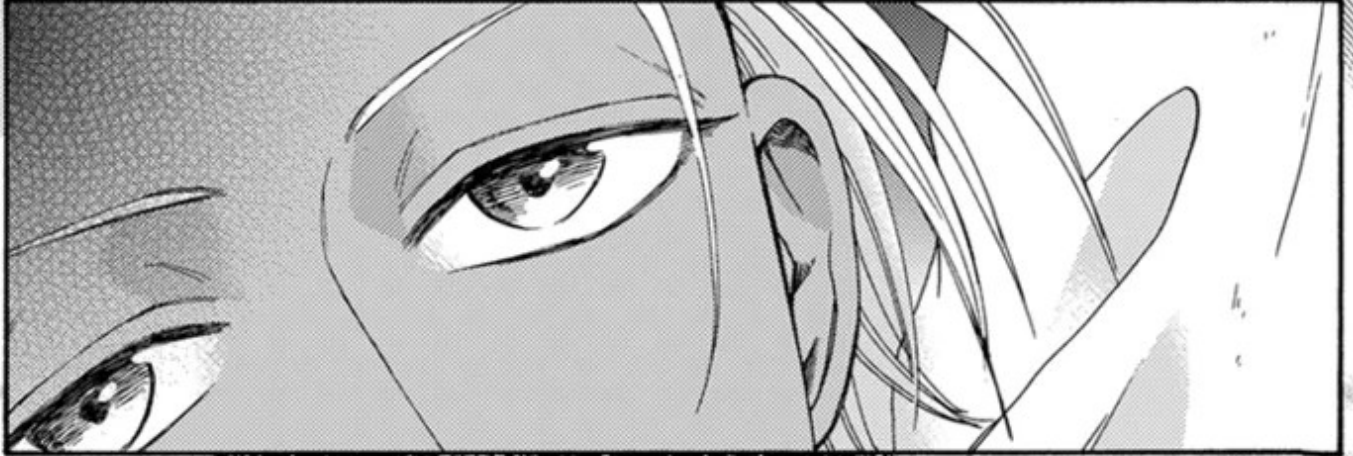
もっぺんする??

ほら
早く寝ろツ!

なんだよお
兄ちゃん
二哥が
起こした癖に

えっ
一緒に
寝るの?

いいけど二哥
兄ちゃん
服は
着替えなよ



—お金が沢山
貰えるようになったら

まず家を買おう



そこそこ美人な
嫁をもらって

子どもも
もらって

ヤギでも飼って
のどかに
暮らすんだ



それが
道理ってものじゃ
ないか

カ
ハ
バ
ッ

カイエン
海燕！

カイエン
おい海燕！

起きろ！
俺だって
眠いんだぞ！

… 唉っ

お前：
あんまり
覚えが悪いと
連れてって
やんねーぞ！

？

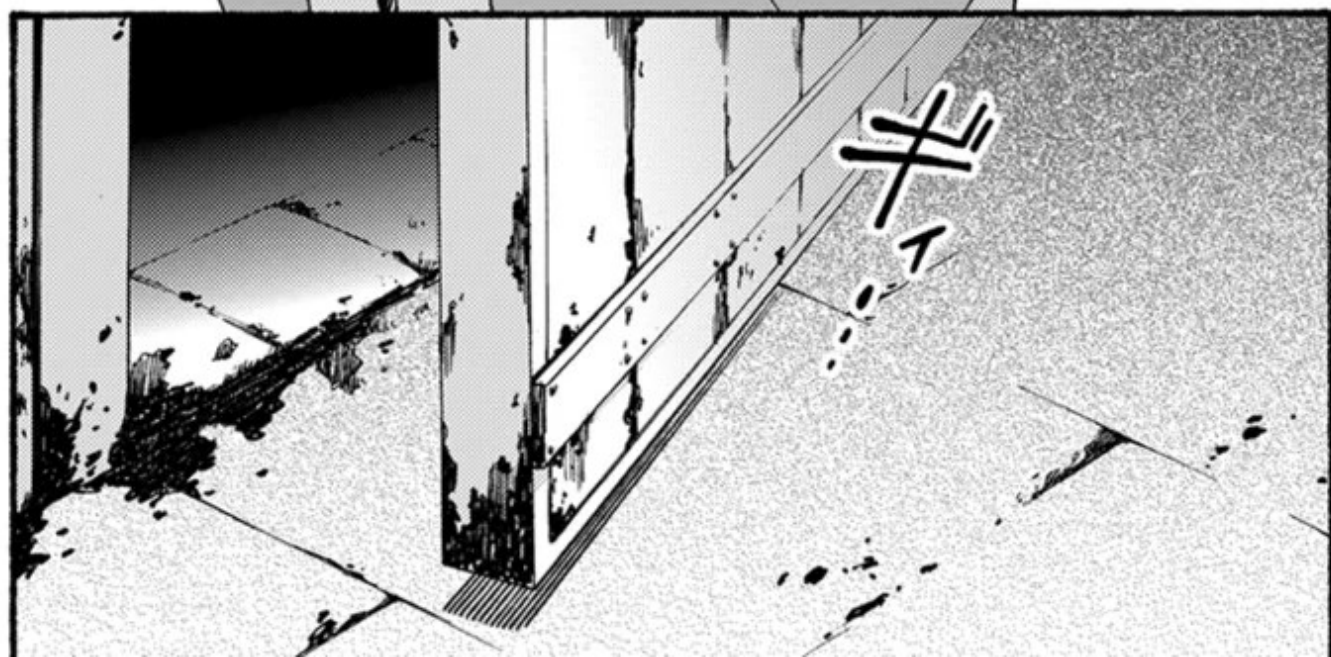
終


ヤンネイ
楊寧

名家に生まれ
次期皇帝の
友として育つ

美人の妻
豪華な邸宅
繁栄の一族

この男を
妬まない者は
いない――





我が友よ

— 良い格好だな

偽宦官 楊寧

前編

「^{パオ}宝”の持ち主」

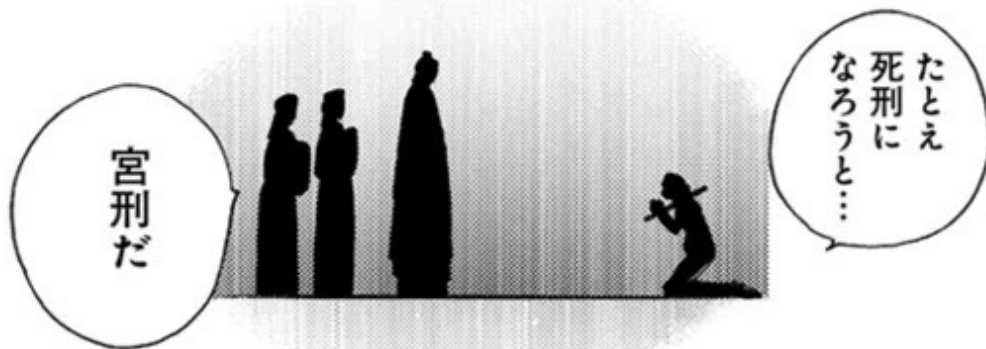
宦官…かんがん

去勢した男子で
宮廷・後宮に仕える者

彼らは王の私的な奴隷であり
その処遇は王の機嫌次第だった

寵を得れば富と権力を授かり
不興を買えば死を賜った







油で
揚げた
陽物……？

油……？

今日
手術した者の
「宝」だ


お前はこれを
宮刑の証と
するがいい




……それで……








宦官達の
動向を監視し
報告するお役目を
賜った……




この私が
陛下の妻妾に
手を出すなど
馬鹿げた話だ

——だが……
私が邪魔な者や
利用したい者


色んな人間の
利益が一致
したのだから



……という事
だろうな



今日
手術した者の
「宝」だ



……
誰のモノだ……？



楊太監
ヤンたいかん

こちらが
我々の
普段生活する
宮でございます



いやあ、
お見苦しくて
申し訳ないです

中々補修の
予算が
つかないそうで

はは

元官吏として
私こそ
詫びよう

誰の懐に
入ったのやら



何だ？

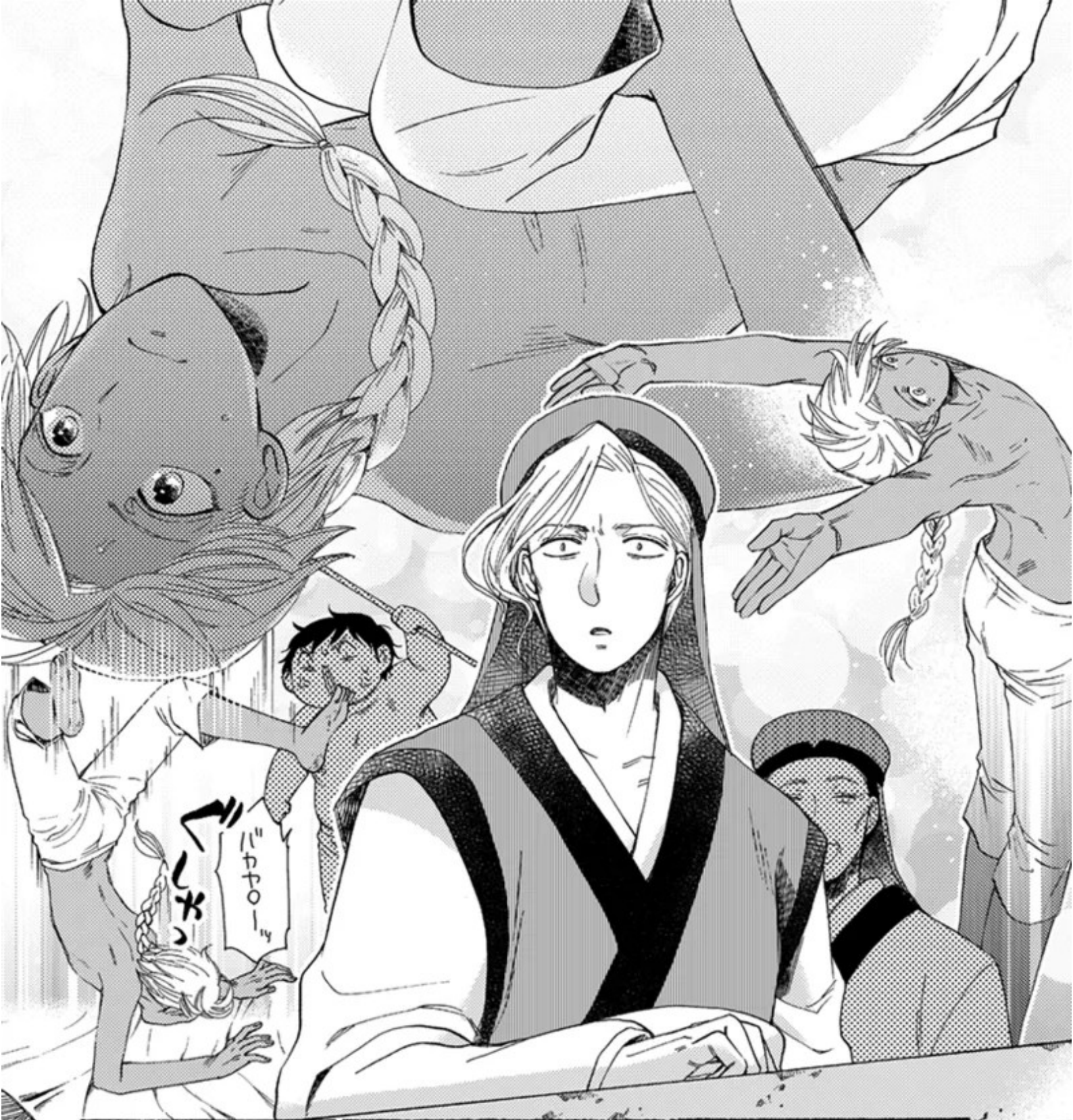
あつ

今は鐘鼓司の
学芸官が
鍛錬して
いるのです



もう
一回!!

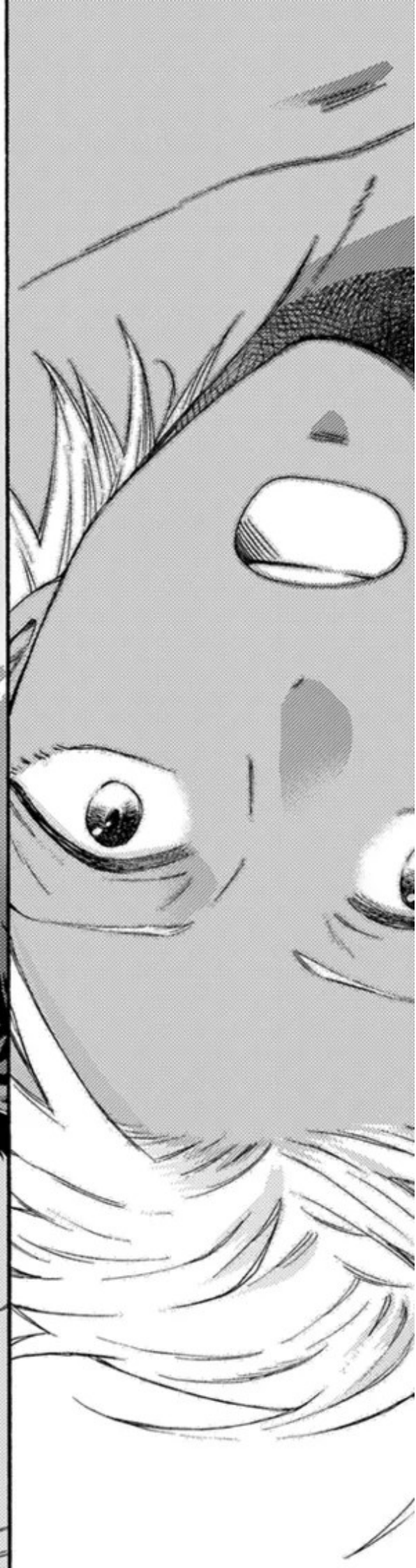
いや、
もっと高く
とべ!!



…太監？

側に寄ると
危のう
ございますよ

休みな!!
もう一度
つま先から!!









あのっ
足が

足が
そのう…
やめっ

ぐ…
ぐ…
ぐ…



え…



え…

あっ…!!



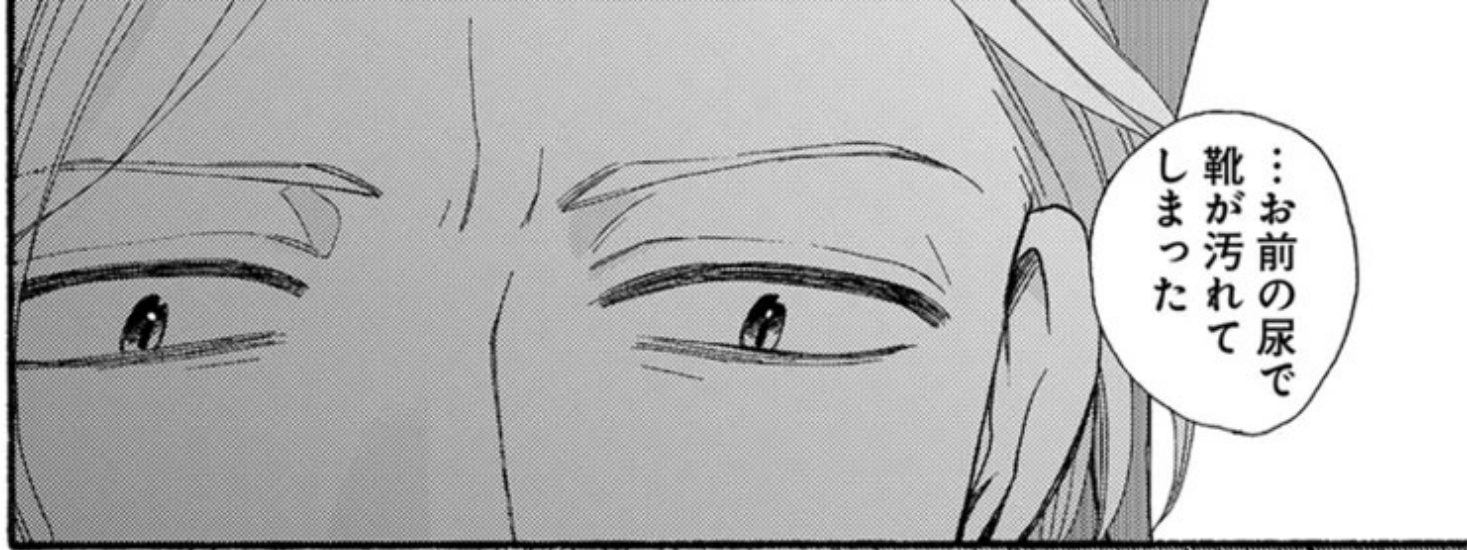
じょ
じょ
わ…



成る程

確かに
宦官になった
ばかりの
ようだ

シモが
ゆるい





お前は
騾馬の話
を信じているか

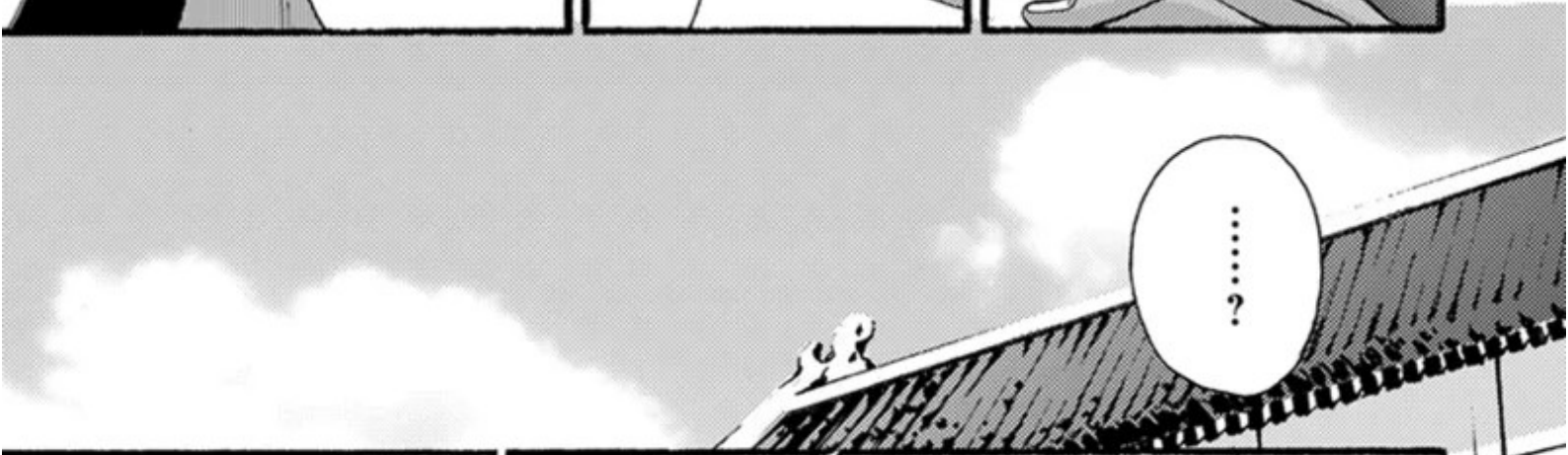


ま
馬士良マシロウです…

…ふん…



……名は



……?



かつて自らを
「欠けさせた」
者達は

思い荷駄を
背負いながら
後悔の涙を
流す――



来世は
雌の騾馬に
生まれ変わる…



子孫繁栄の術を
自ら捨てる事は
孝の道に
反する事だ

それは死後
必ず
閼王閼王の王によって
裁かれ



どう思う



は...
そのう...

構わぬ
申してみよ



しかし
死んだ時
「宝」を
「元の位置」に
戻しさえすれば
.....

閨王の目を
誤魔化せる
という

有名な
話だ

...本当か嘘か
わからない話
ですし.....



死んだ後とか
来世より

今が大事
かなって...



.....

ええっ!?

す
すみません

なんか
すみません

はぁあぁあ..
深いため息



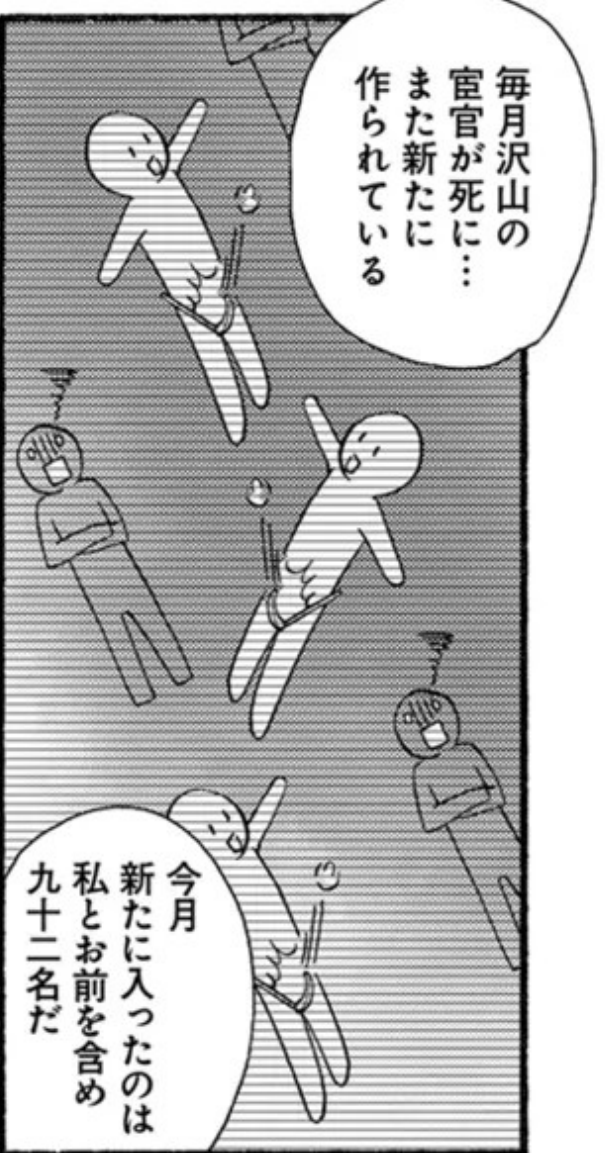
だが：
驃馬の話
全く信じて
いないのは

スッ

お前だけ
だったな



その内
手術代の為に
宝バウを売った者は
五名



毎月沢山の
宦官が死に：
また新たに
作られている

今月
新たに入ったのは
私とお前を含め
九十二名だ



太監殿

あ
太監殿
もう
お帰りですか!!

.....
?

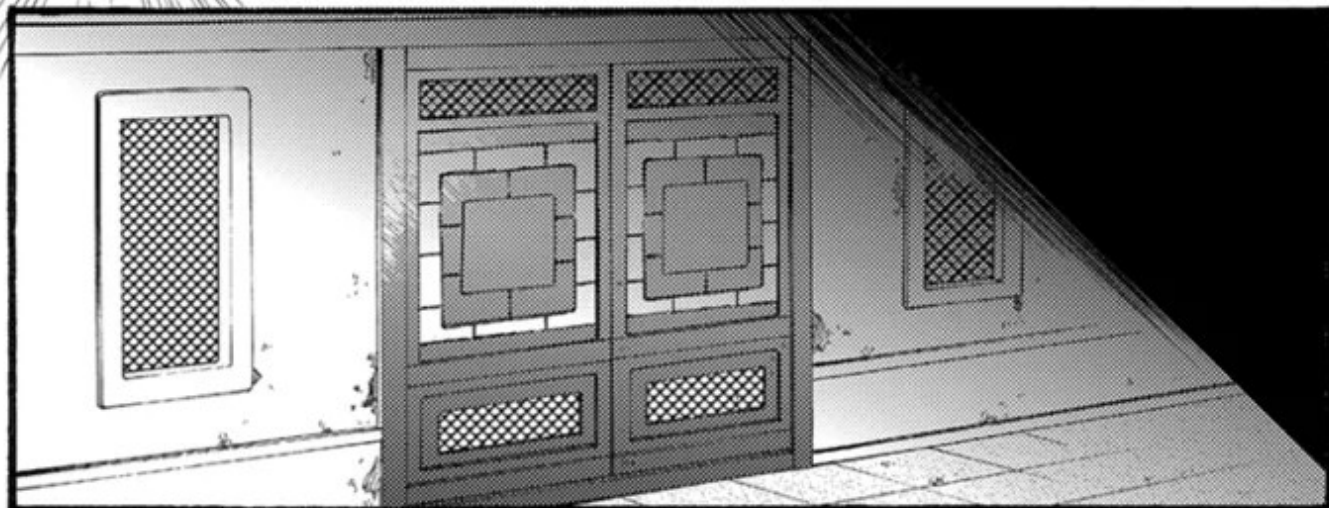
カッ

カッ

カッ

間違いない

子どもで異族…
あの宝の
持ち主だ



宦官にとって
命と同等に
大切な宝……

下
が
れ

誰その物なら
返してやりたいと
思っていたが……



今が大事
かなって…

あの様子では
すぐ売って
しまいそうだな

やはり
私が保管
しておくか…

だからさ

やっぱり
今度の大監は
普通じゃ
ないぞ

皇帝陛下の
伴々で
楊一族で
高級官吏だぜ？

二兄さん
それ
もう十回は
聞きましたけど

陛下の
伴々様が
宦官になるわけ
ないでしょ

そ…

それはだな…

陛下の采女に
手を出した
とかでさ

若くして
出世してたのに
ぜーんぶ

オシマイ

宮刑
くらった
らしいぜ！

チャオ
チャオ

でもっ太監の
噂はこれで
オシマイじゃ
ないんだな！

なんと……朝
ヒゲを抜いて
いらっしやる
らしい

宦官に
ヒゲなんか
生えるわけ
ないでしょ……

だから！

だから変だろ！
うち以外の
宦官がお世話に
ついてるのも
変だし

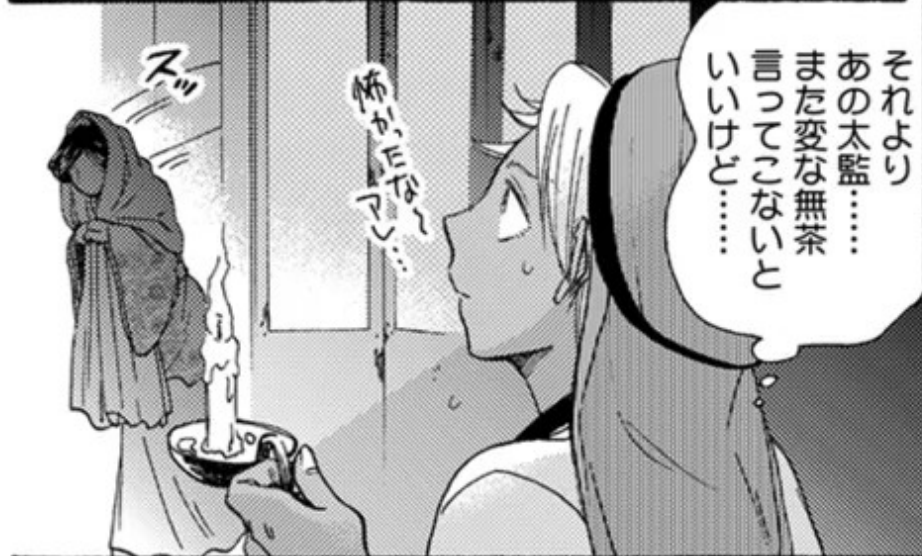
お前今日
不寝番なんだから
ヒゲ確かめて
来いよな！

ええ……



兄さん
二哥の
嗜好きには
参るな

ちんこ切ったら
ヒゲなんて
生えないん
だってば…



それより
あの太監……
また変な無茶
言ってこないと
いいけど……

——つたく



……失礼
します…

今夜の
不寝番で
ございます



女官……？



あつ…



明日出来る者が
来るから
教えて
もらいなさい

そうか

あ
ありがとうございます
ございます!



も...
もしかして
さっきの女官と!?

.....
士良か



嘘...
嘘ッ

茶は
煎られるか
す...みません
無理です



.....嫌われてる
わけじゃ
ないのかな





ヒゲの話なんか
してる場合じゃ
ないよ

すごい...
楊太監
すごいぞ



ひげ...!!

ひげ...!!



.....っ

小遣いだ.....!!



最高!!!



宦官の妻なんて
世間の
良い笑い者です

私
別の方と
再婚しますわ



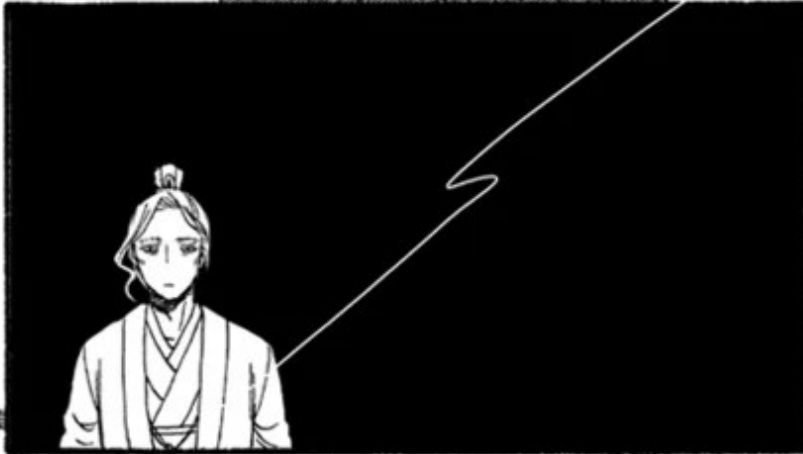
.....

私に何ら
恥じる処きまはない



其方の事も
これまで通り
大切にす

大切に
されたと
思ったことなど
ありませんわ！



.....

子は.....

置いていけ

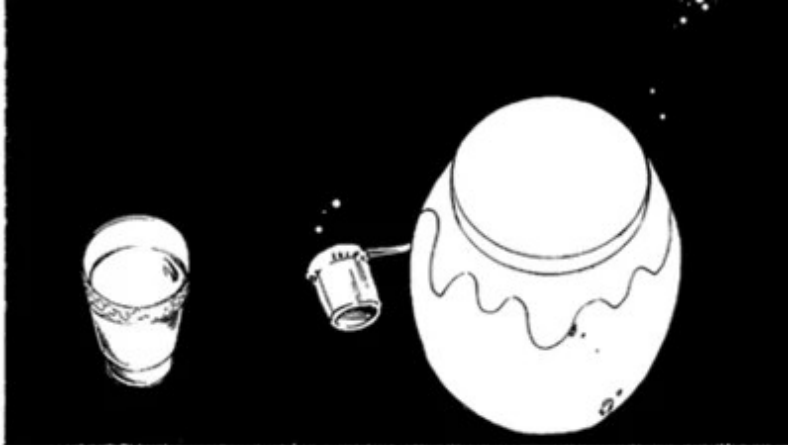
ヤシ
楊の家で
育てる

なんと
言えば
良かったの
だろうか？



見てください
うちの麗琳！
美人だろ？

兄上が
内府に入るなら
この子もお願い
できないかね



兄上
我々は妬みを
買い過ぎたのだ

どうだろう
これからは
宮廷の「奥」に
勢力を伸ばして
いくというの？



父上
ご冗談が
過ぎます

内府など
汚らわしい
宦官どもの
巢窟です



…思っている

自身が恥の
塊の様に
感じている

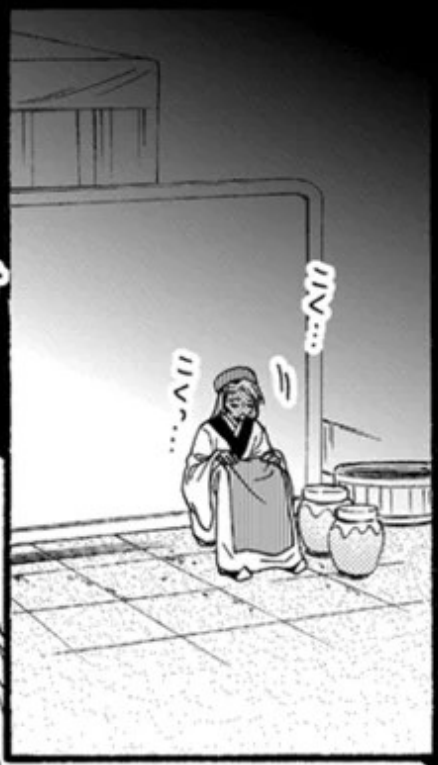
叔父様！
官吏から
内府の宦官になるなど
恥ずかしいと
思ってください！

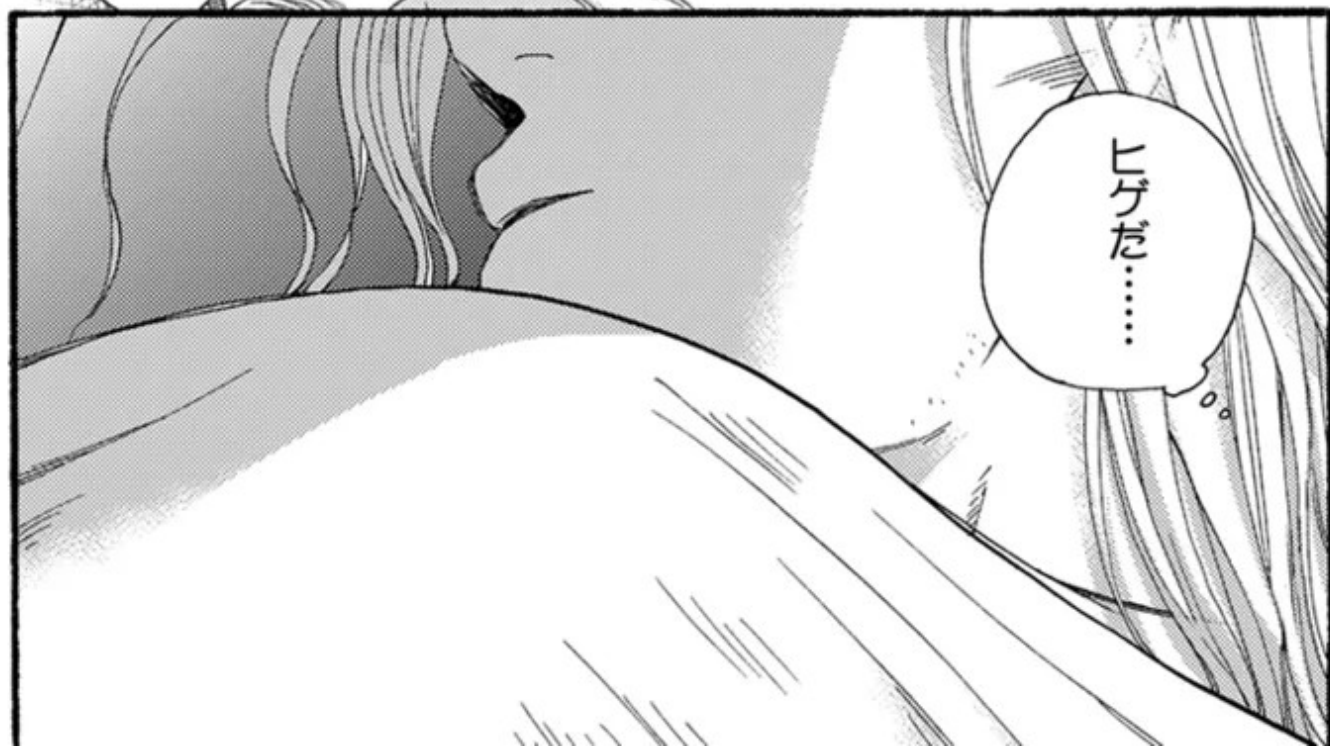


—しかし
それ以上に

死刑にならず
宮刑も
免れた事を
喜ぶ自分がある

私は
生き汚いの
だろうか…





生えている

ひげ

が



さらさらさら

そりゃ、げんこつで生えるの、健全な男なら



まっ

まっ

まっ
まっ

.....
意味もなく床をみがいてみる

まっ



いや問題は「健全な男」がなんで後宮にいたのかって事で

...よしっ...



何も……

見なかった事に
しよう……



あんなに可愛
い子に会った
のは初めて

アハハハ

——それさき……

それっきり楊太監の
去勢してない疑惑
について考える事は
なかった

俺には
何も関係ないと
思っていたからだ

偽宦官 楊寧
中編 窮鼠の脅迫

士良シラガ
新しく入った
海燕カイヤンだ

よく面倒を
見てあげなさい



ほほえましい
ですなあ、
私の若い頃を
思い出します
のほほほ...

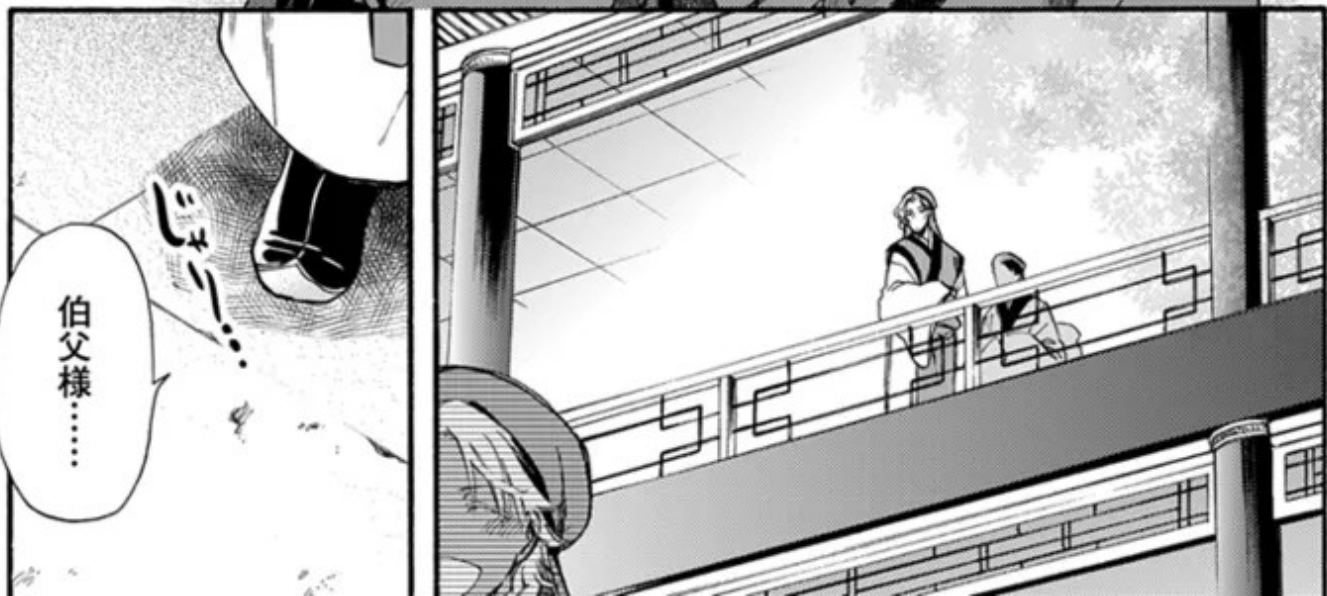
おやおや
百年前の話を
されてもねえ

ははは...



フキ...

.....?



士良は海燕を
とても好きに
なってしまった
ようです

……

海燕を
別の者に
つけたら
どうです？

私が
面倒を見ても
いいです

……
麗琳

士良と海燕の
仲が良いのは
良い事だ

それがもし
恋愛感情で
あっても

私には
何ら関係ないし
……どうする
つもりもない

カンカン
カンカン
カン





.....



ううん...

だが
異族には
違うない



ううん...
肌のハリも
いいな

出身は
どこだね

わ...わかりません
娼館で
生まれたので...

此度の劇には
右弦親王様に
足をお運び頂ける
予定でな



新王様は
お前のような肌の
異族が
好きだそうだ
から...





あんなに喜んで
まあ……

はは……

あっ

楊太監……！
いつの間
いらしたので



上手くいけば
愛人に
なれたりして

そしたら
お小遣い
沢山もらって
でっかい家
建ててやるー



……

新王様の
いらつしやる場に
異族を出すのは
良くない




——と
異族を勧めて来る者は
数知れず……
新王様は
うんざりされて
おられる



えっ……


いやでも

新王様は
異族の愛人を
お持ち
なんですから……



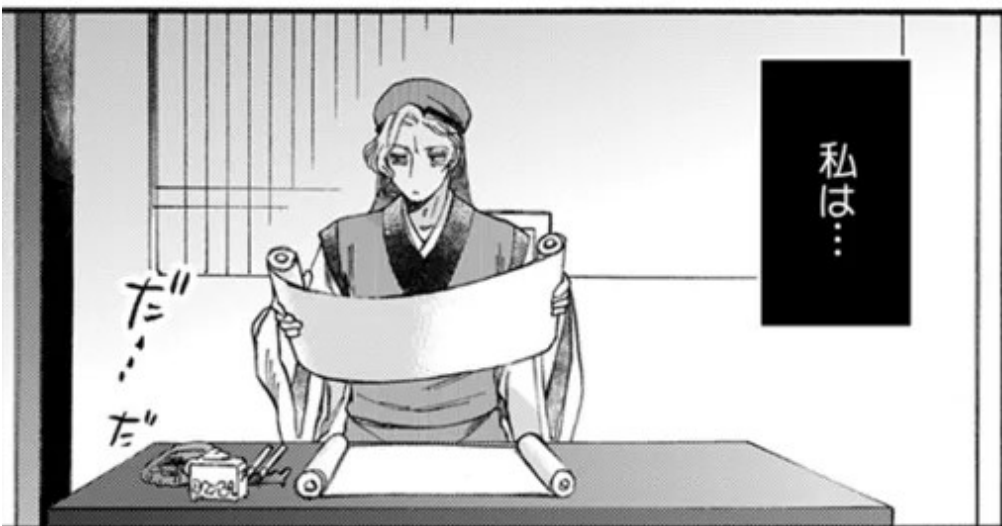
浅はかな考えで
動かないことだ

場合によっては
其方ら全員の
首が飛ぶぞ



右弦新王様は
異族を劇に
出したくらいで
お怒りにならない
でしょう





私は…

た…
た…
た…



た…

た…
た…

た…
た…



ぼん！！

しかし
反論は出来ない

私は…





楊太監が
俺が劇に出るのを
反対されたと
聞きました……!

た
太監……!

よ
よ



——そうだ



酷いですよ
士良のような
下級宦官にとって
夢のような話を
潰して……



なにか……
何か至らない
所があるなら
直します

精一杯
頑張ります

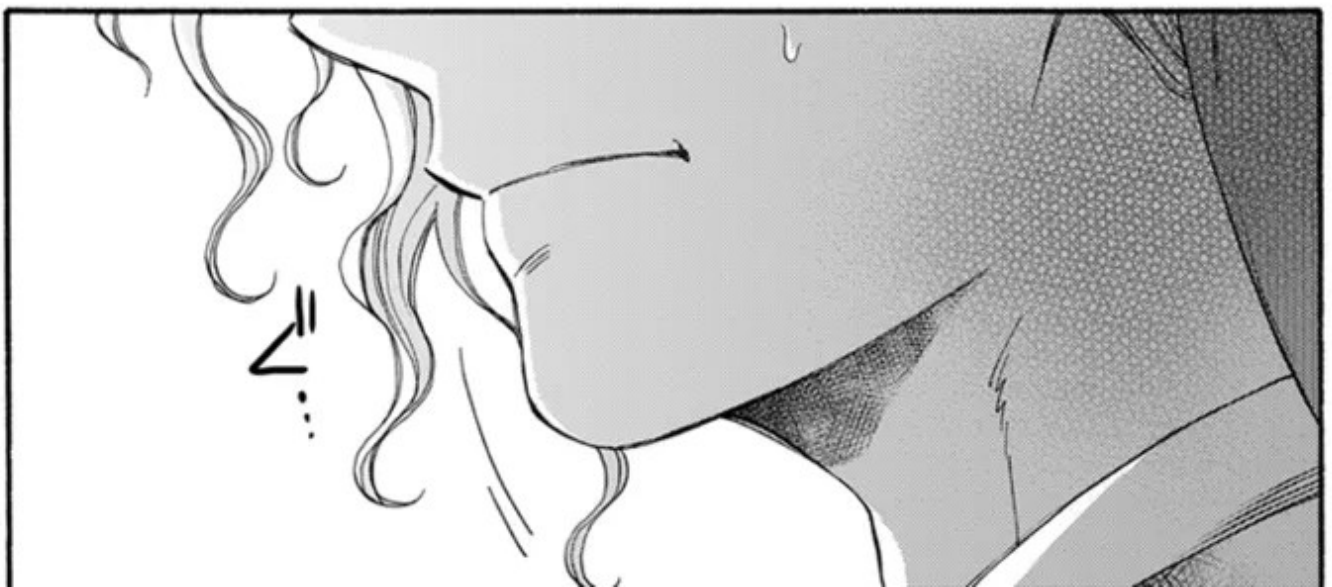
どうか……!

確かに私は
若者の未来を
奪った

ただこの
青い果実を
衆目に
晒したくないと



それだけの
思いで……





—自惚れるな



お前の「頑張り」如きで何かが動くと思えるのか



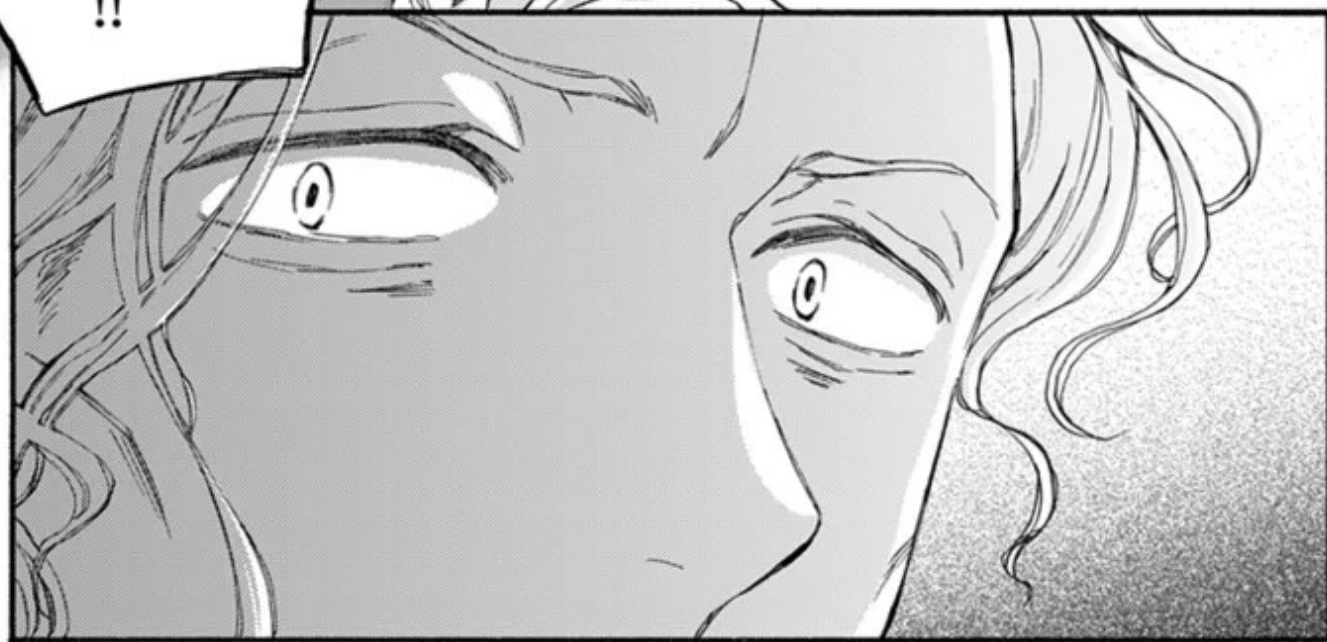
上からの命令にはおとなしく従っている

こんな振る舞いをするようでは一生裏方だぞ



下がれ





ほ……
本気だからな

証拠が出れば
後宮にいられない
どころか一族郎党
斬首だって――

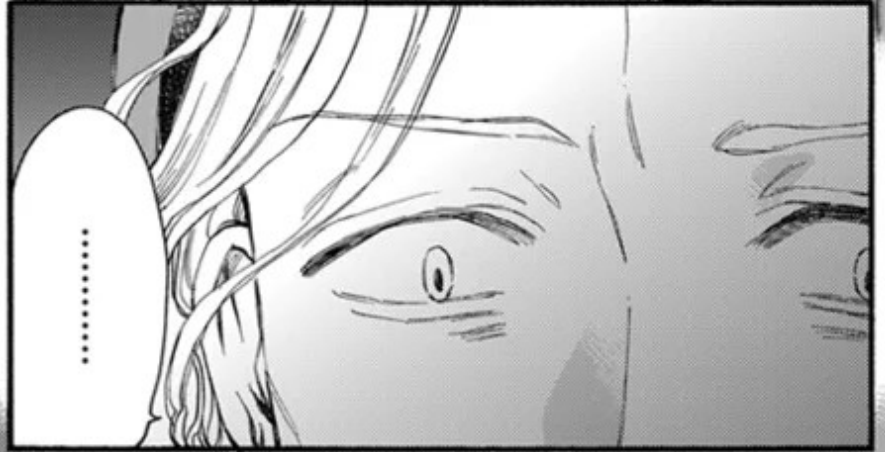
噂が広がって
身体検査
されればいい

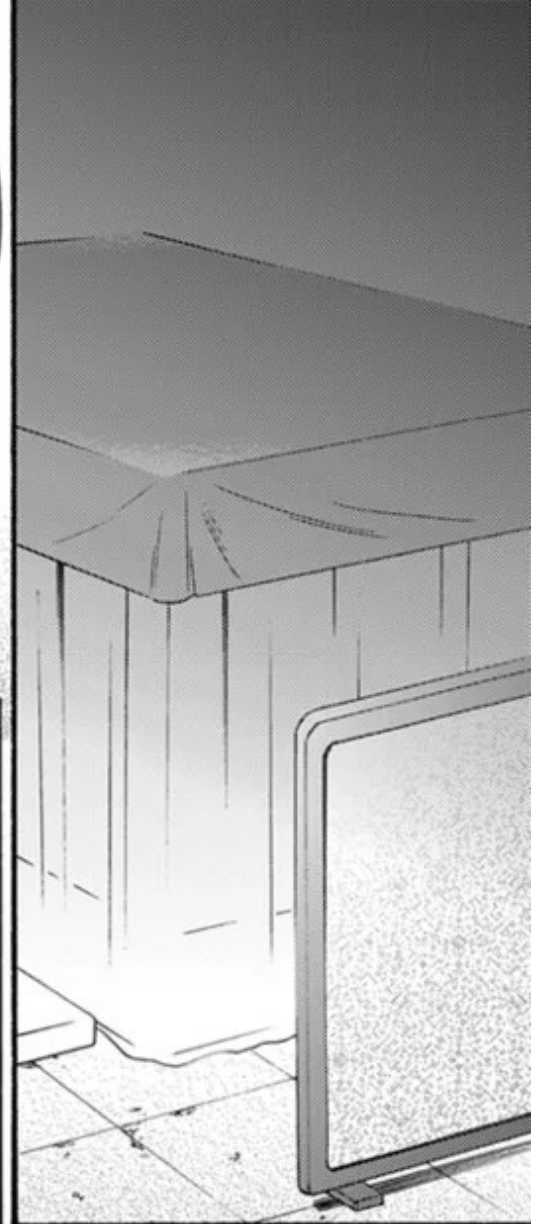
……それを
ねじ伏せ
られるのが

権力という
ものだ

……

ぐにゅ……





自分から
飛び込んできた
獲物に
何を遠慮する
必要がある

瑞々しい肌

希望で光る瞳

躍動する体…

太監……

可哀想な
異族……

お前を……
驟馬になど
したくはないな……






私だ……

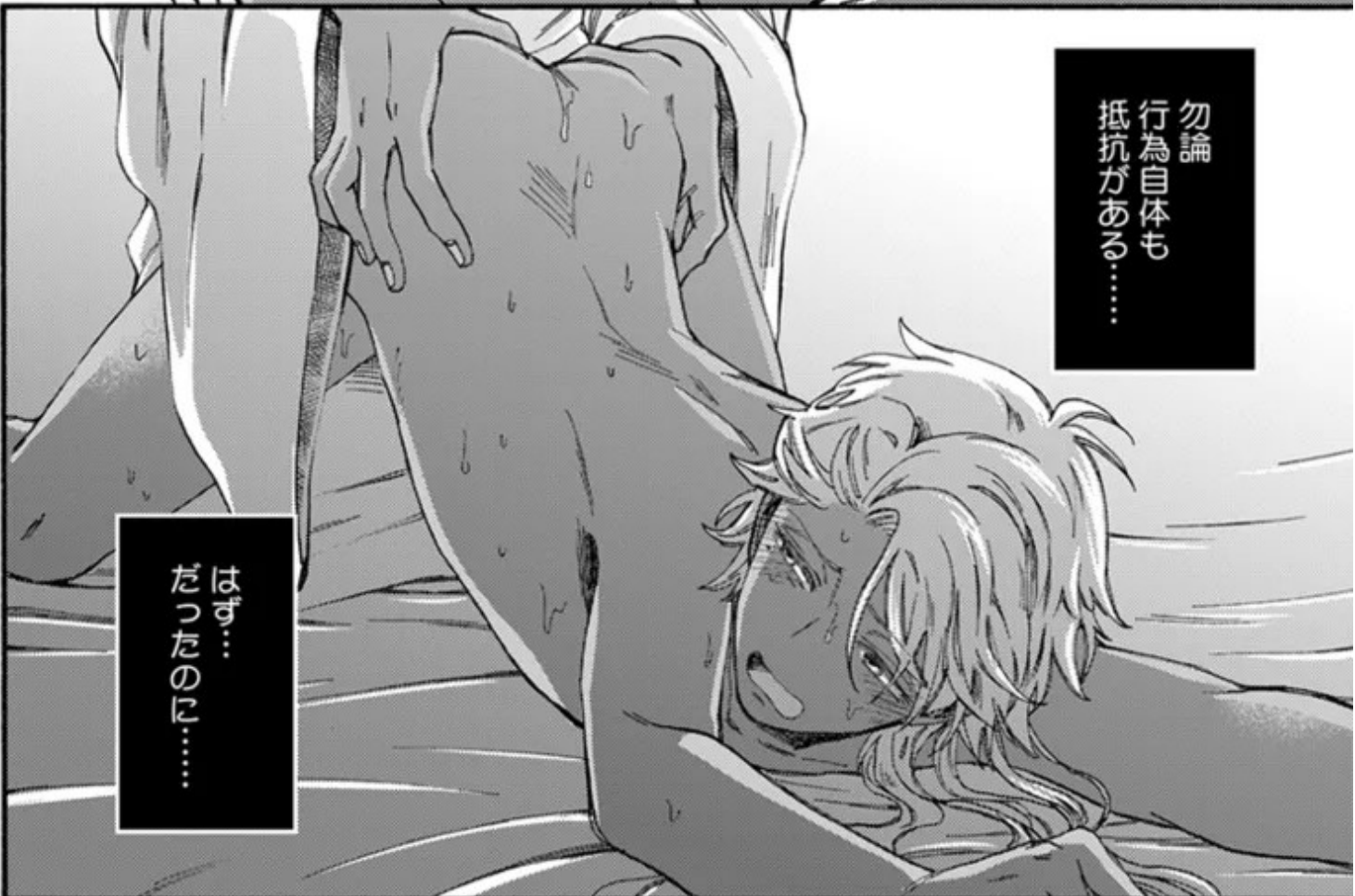


偽宦官 楊寧
後編 宝の在り処

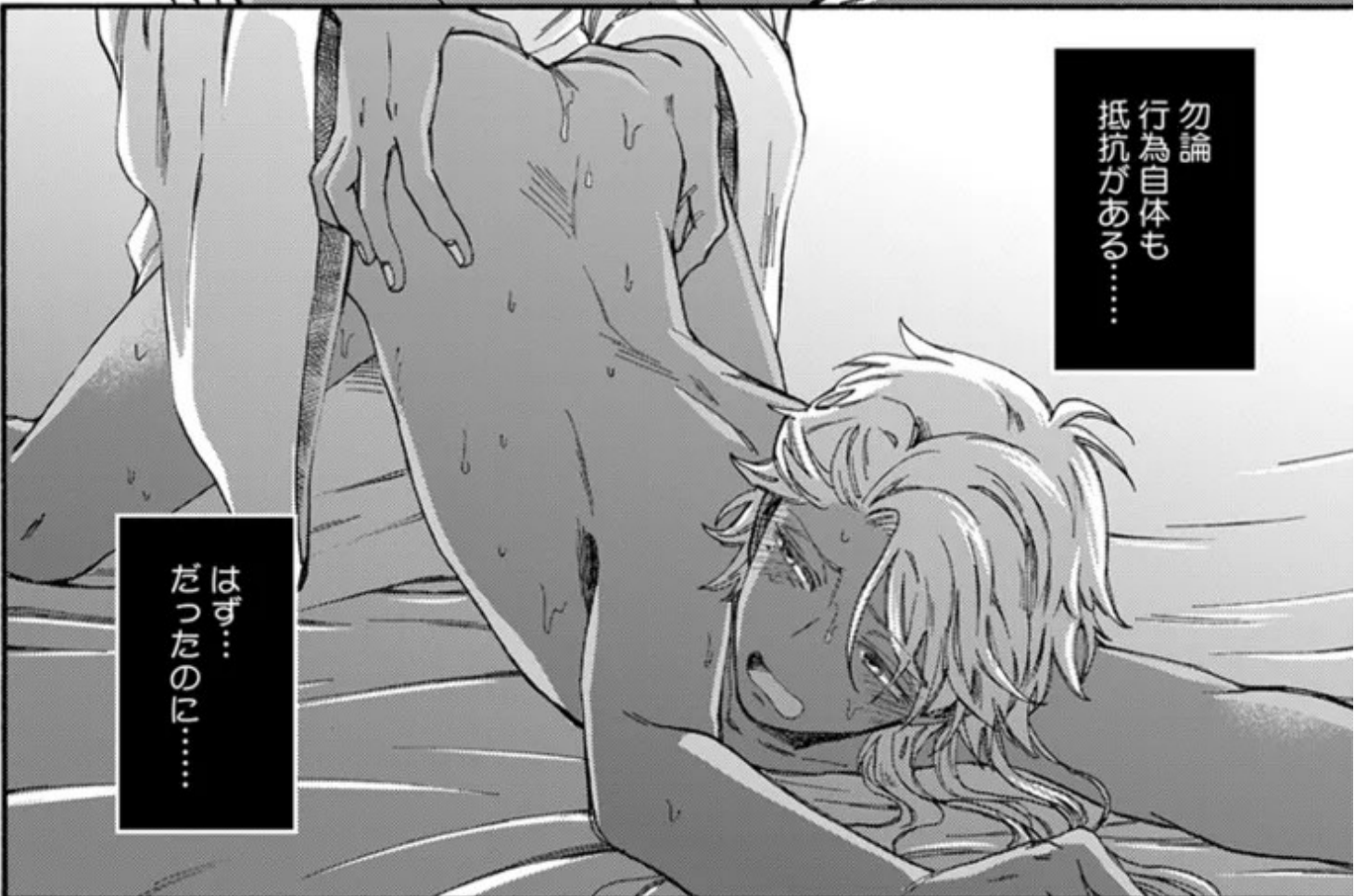




吻は
特に嫌だった



勿論
行為自体も
抵抗がある……



は……
だったのに……



太監



太監っ



あっ



あっ



あっ



ギッ
ギッ



ギッ



ギッ



ギッ



ね……

……



寧様……



士良^{シラウ}物覚えが
悪いな

あ
その……

ちゃんと
言いなさい



恋人みたいで
気持ち悪い



嫌だ
こいつの

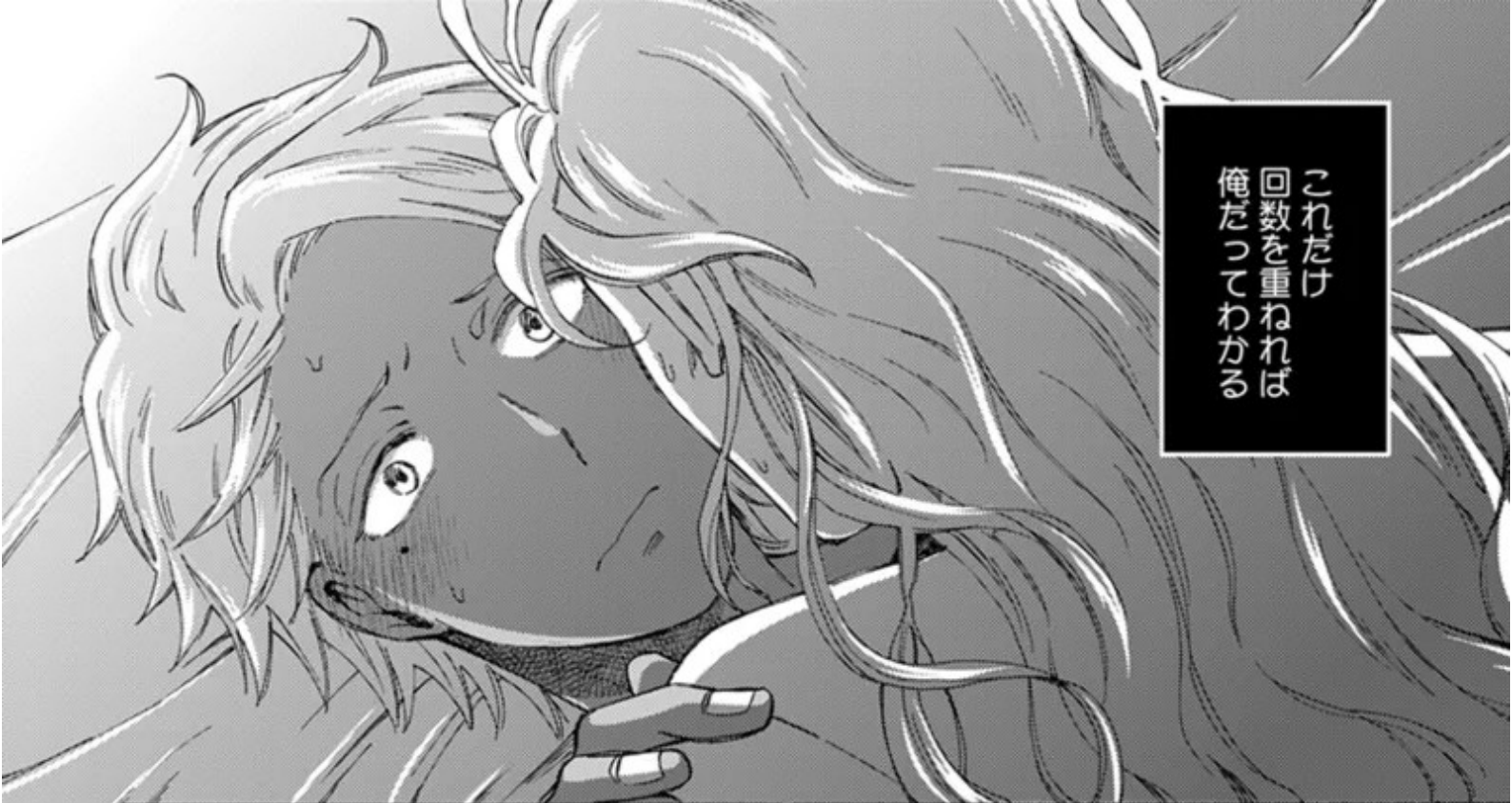


ん

ふんふん目
見な
よ

士良……？
お前は時々
おかしく
なるな






これだけ
回数を重ねれば
俺だってわかる




太監……


いや……
このおっさんは



俺の事が
好きなのだ



多分……
いやいや
ほほ
間違いなく……



で……でも
しょっちゅう
宝だの
驛馬だのの話
するのは
やめてほしいな……

迷信信じて
俺の事心配して
くれてん
だろうけど

ちんこ無いまま
死んだら
来世は驛馬に
なるとか……
子どもでも
信じねーし……!



おめでとう!!!



なんだよ

何がめでたいんだよ

だってえ 次の劇で役もらうんですよ



え...



……太監……

約束……



アニキ
二哥
~~~~~  
アニキ  
二哥~!  
ほた

ほた

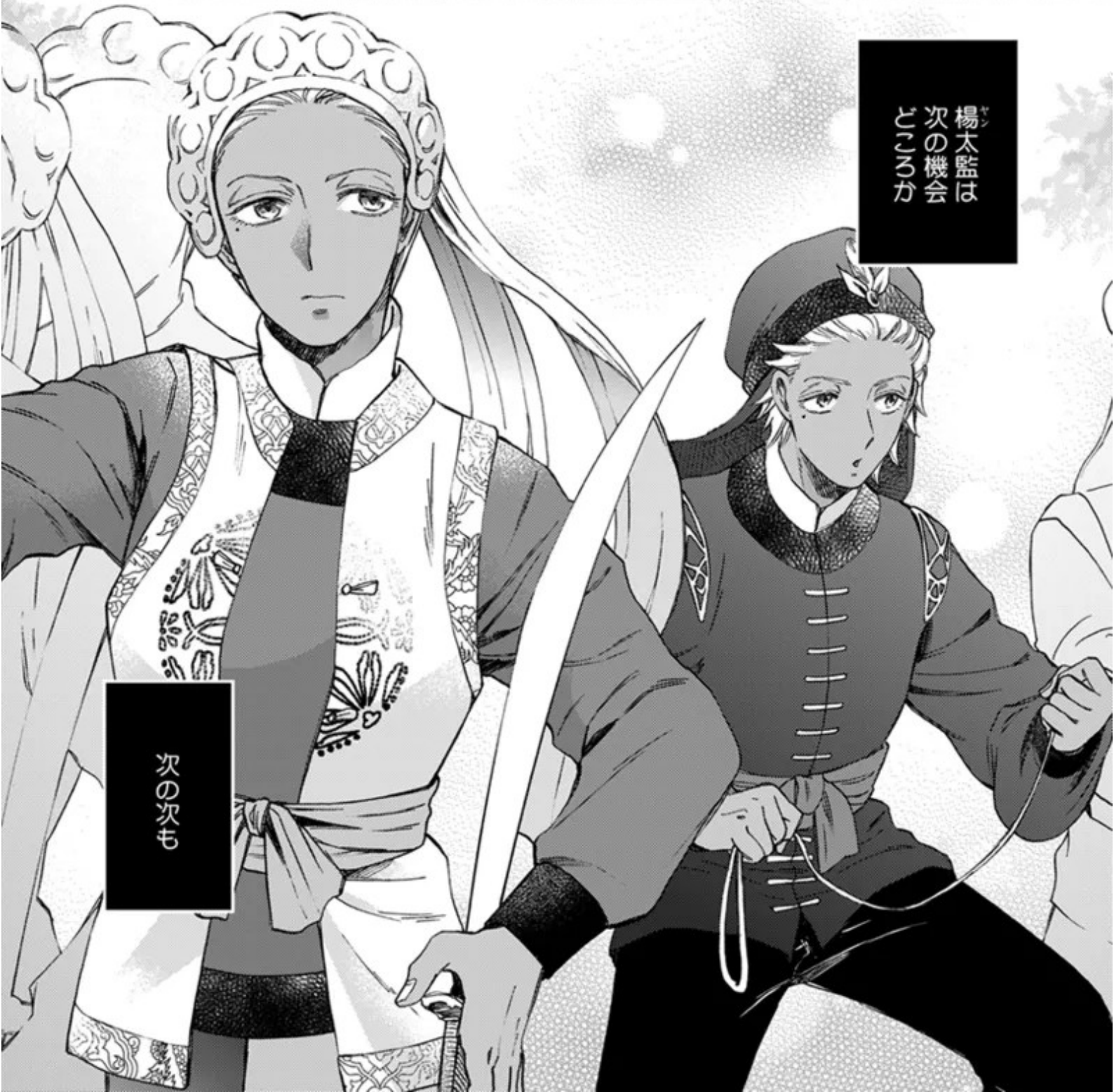
ほた

ほた



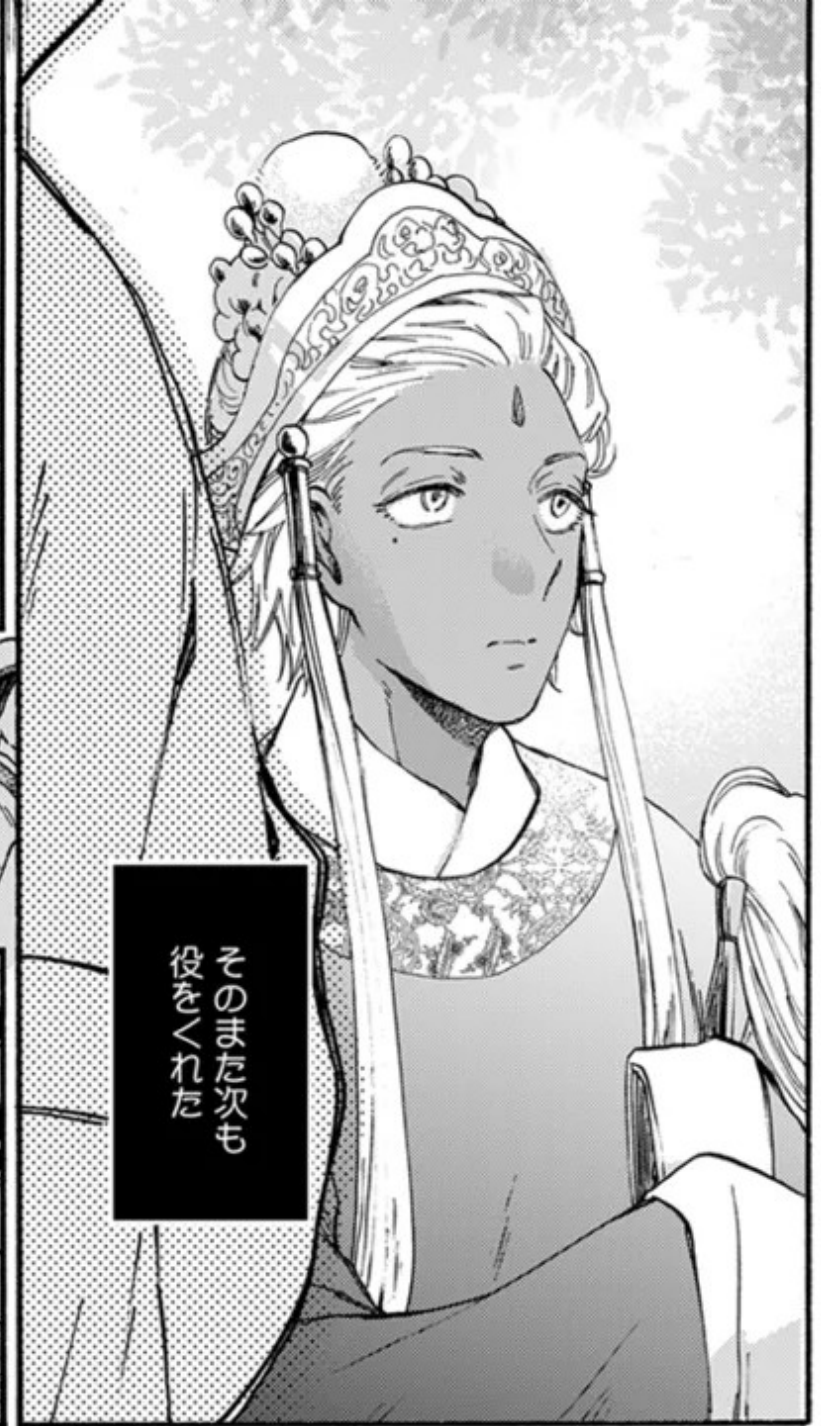
——意外にも

ちゃんと守ってくれたのか...



楊太監は次の機会どころか

次の次も



そのまた次も  
役をくれた



士良！  
シラウ



そりやあ  
士良が  
出てるからさ

あ  
緊張  
したな

楊太監  
めっちゃ  
見てたし



でもまだ  
着替え：

あ

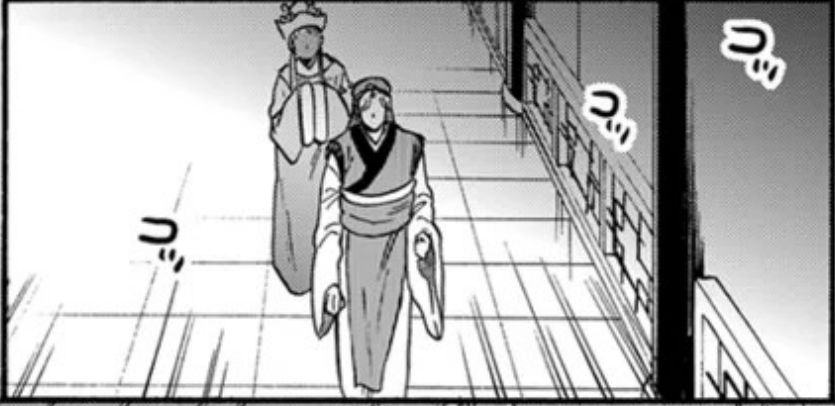
そのまま  
いい

オ...

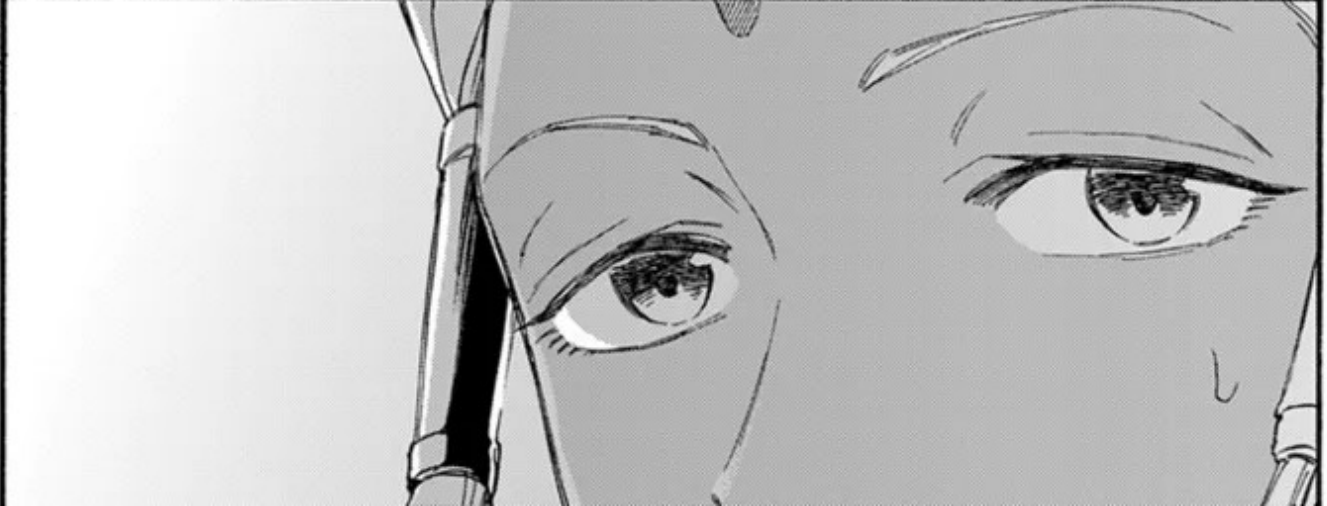
オ...

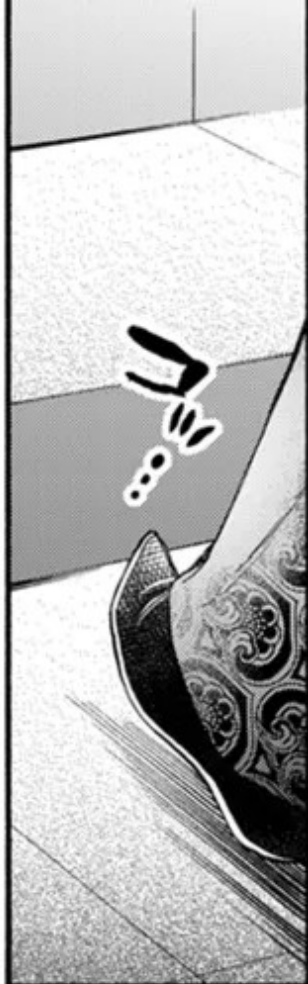
大監  
間...

来なさい

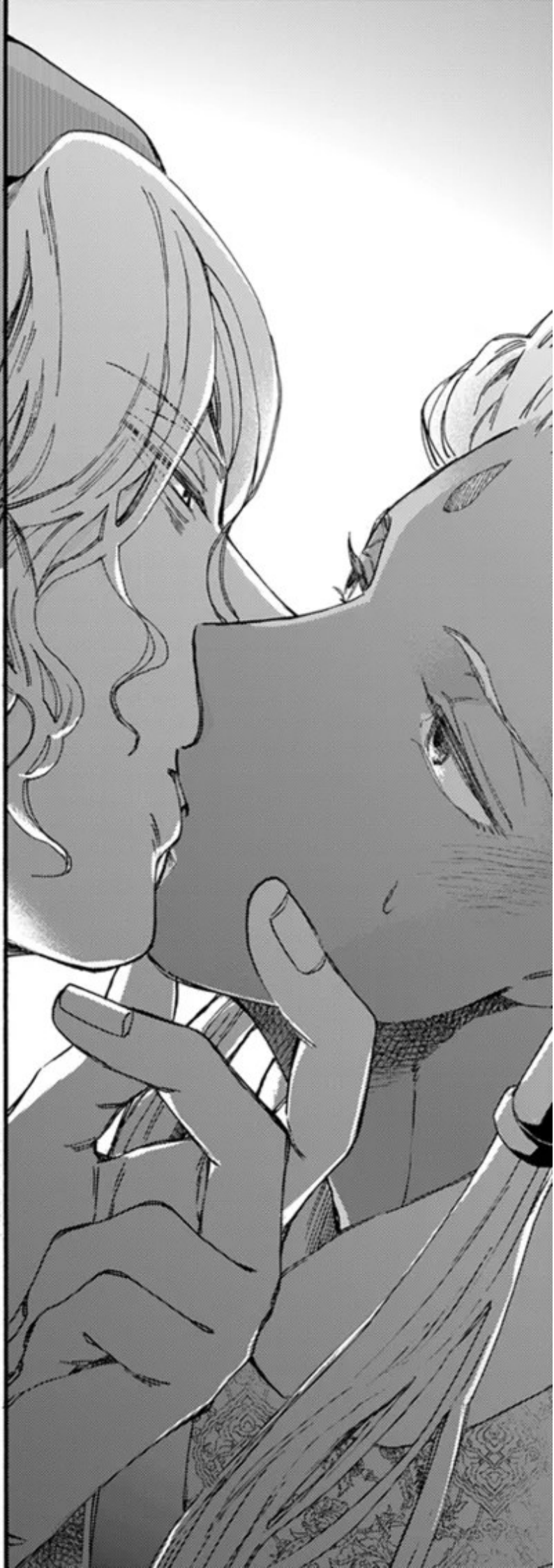


……お前を  
劇に出したく  
なかった











伯父様って…

じょとり。

ほんつとく  
に……



理解しかね  
ます

私なら  
そもそも  
劇に出しま  
せんし

ちゃんと  
囲って外にも  
出しませんよ！

普通  
そうで  
しょう！？

さあな



酷い目に  
あった！

公主様って  
子供だったし

もみくぢめに  
さいた…

士良が本当に  
貴人の愛人に  
なったら  
しまったら  
どうするんです

マア…

マア…

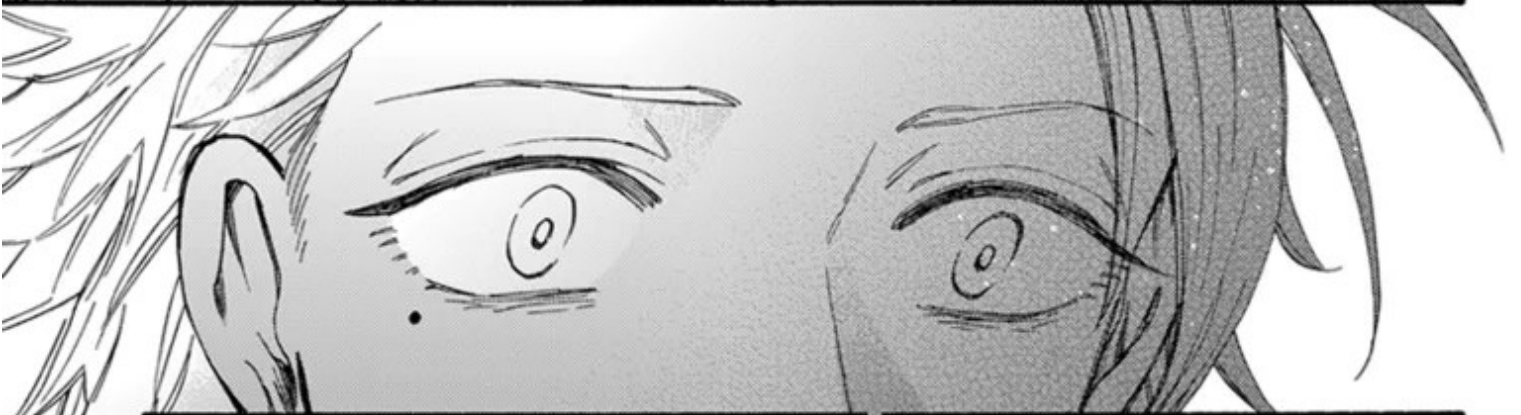


貴人の愛人になりたいたいならばいい



俺の話してる!?

本人が望んでいる事だ



俺もう太監の愛人辞めますから!!

俺...

俺.....っ



捨てられれば...







まあ……  
捨てられたら  
私が拾うから  
問題ない



ひ……拾って  
どうするん  
です

どうもしない  
またお前の  
好きにすると  
いい

失敗したら  
また私が  
拾う



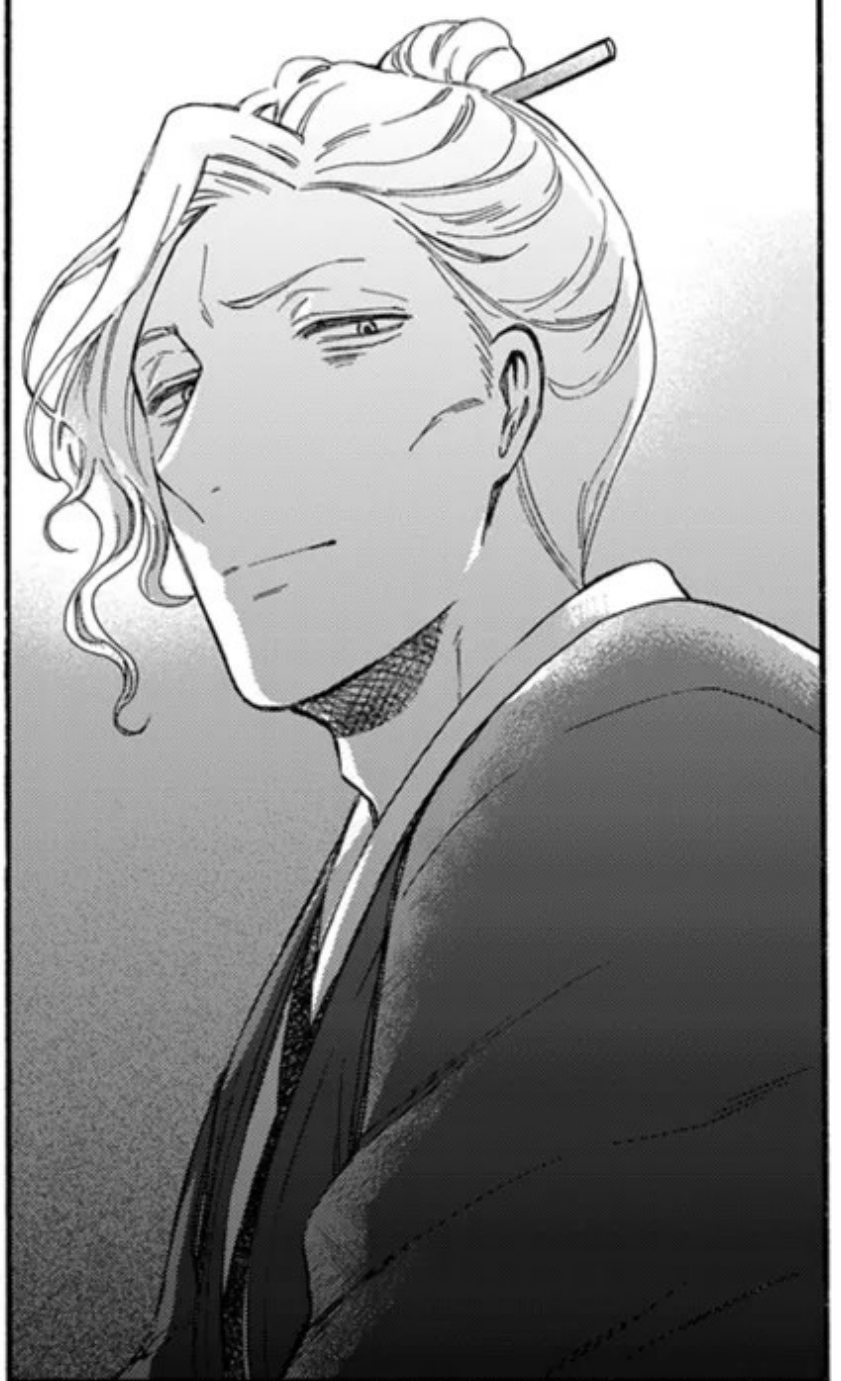
——そうだな

いずれ  
あるかも  
しれないし……

無いかも  
しれない



……それって……  
なんか太監に  
いい事  
あるんですか



あああ

ならなんで  
貴人の愛人に  
なつてもいい  
なんて言うん  
だよあ〜

俺の事  
すっごく  
好きなんじゃ  
ないのか!?

……  
なんだか  
それって……

太監って  
やっほい

わかんない  
わかんない  
全然わかんない

太監と  
付き合うのって  
すごく  
疲れます……

普段脳みそを  
使っていない  
からだろう

ふんふん……

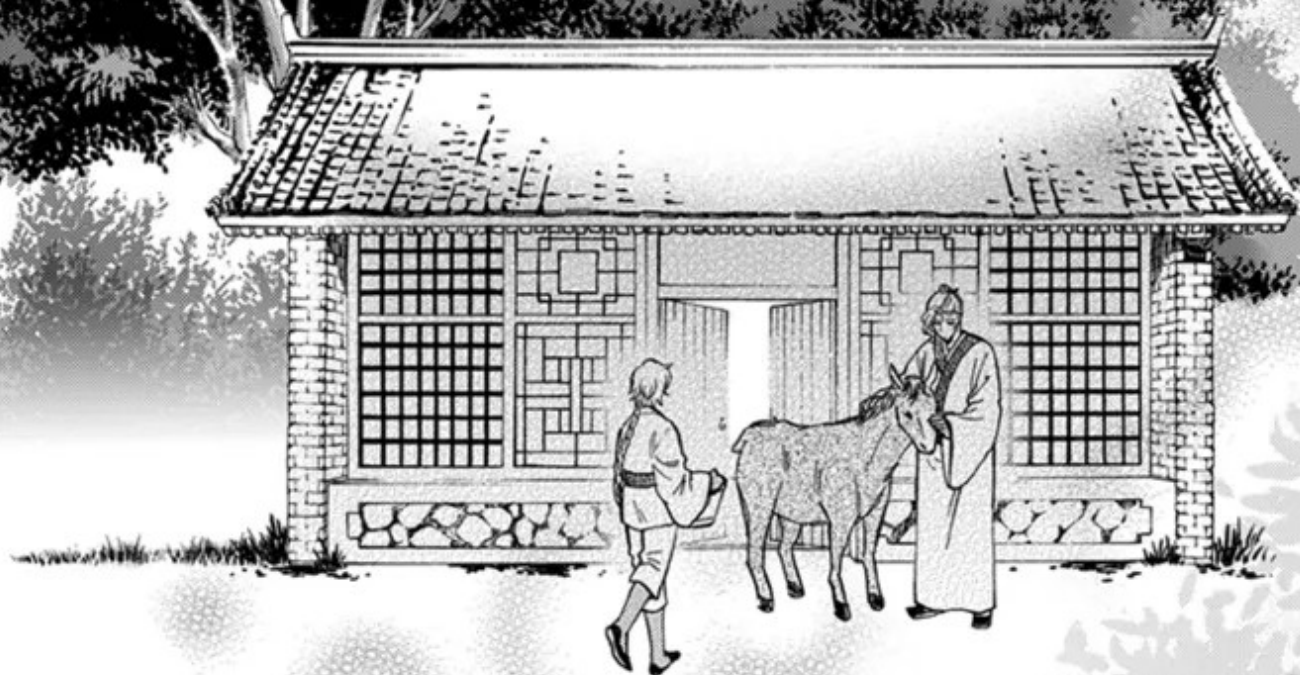
—その夜……

俺は驃馬の  
夢を見た

太監は悪態を  
吐きながら  
驃馬を  
撫でていて

俺は「寧様に  
飼われる驃馬は  
幸せだなあ」と  
言った

小さな家で

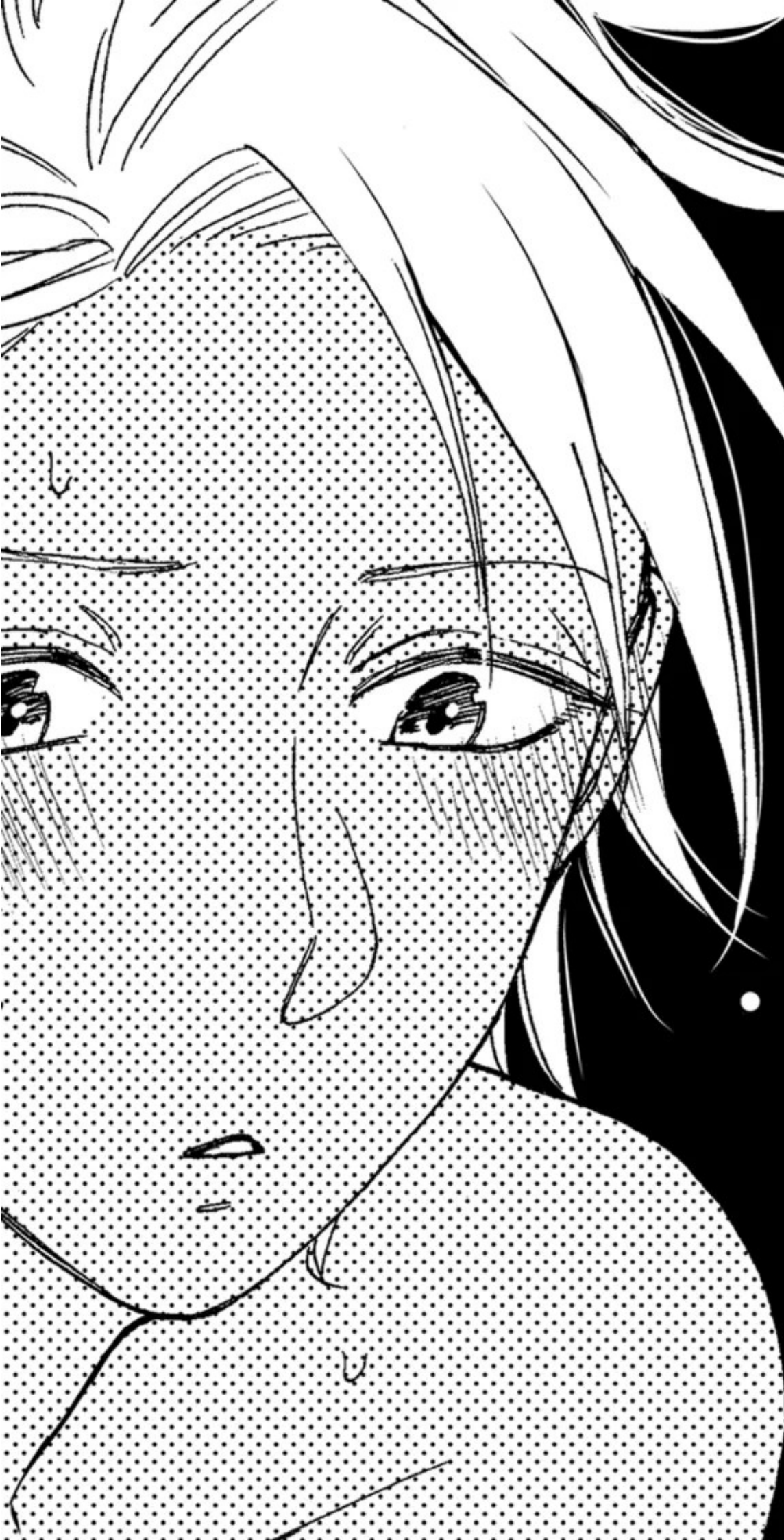


二人……

終



# 宦官夜話



夜

楊<sup>ヤン</sup>太監の部屋に  
呼ばれる

※太監…その部署の長。

周りの  
反応も

俺が太監の  
愛人ってこと

もう皆  
知ってた

「ああそう  
って感じ」



## 宦官…かんがん。

去勢した男子で、  
宮廷・後宮に仕える者。

美しい容姿・髪・仕草を持つ者、  
はっきりした滑舌で美声である者、  
機転が利く者 等が選ばれた。

彼らは王の私的な奴隷であり、  
その処遇は王の機嫌次第だった。

寵を得れば富と権力を授かり、  
不興を買えば死を賜った。



ほう

これは  
豪気な  
贈り物ですね

何これ？

薬です

広狗鞭…  
犬のアソコ  
ですよ

普通の人には  
只の精力剤ですが  
私達にとっては  
ちがう



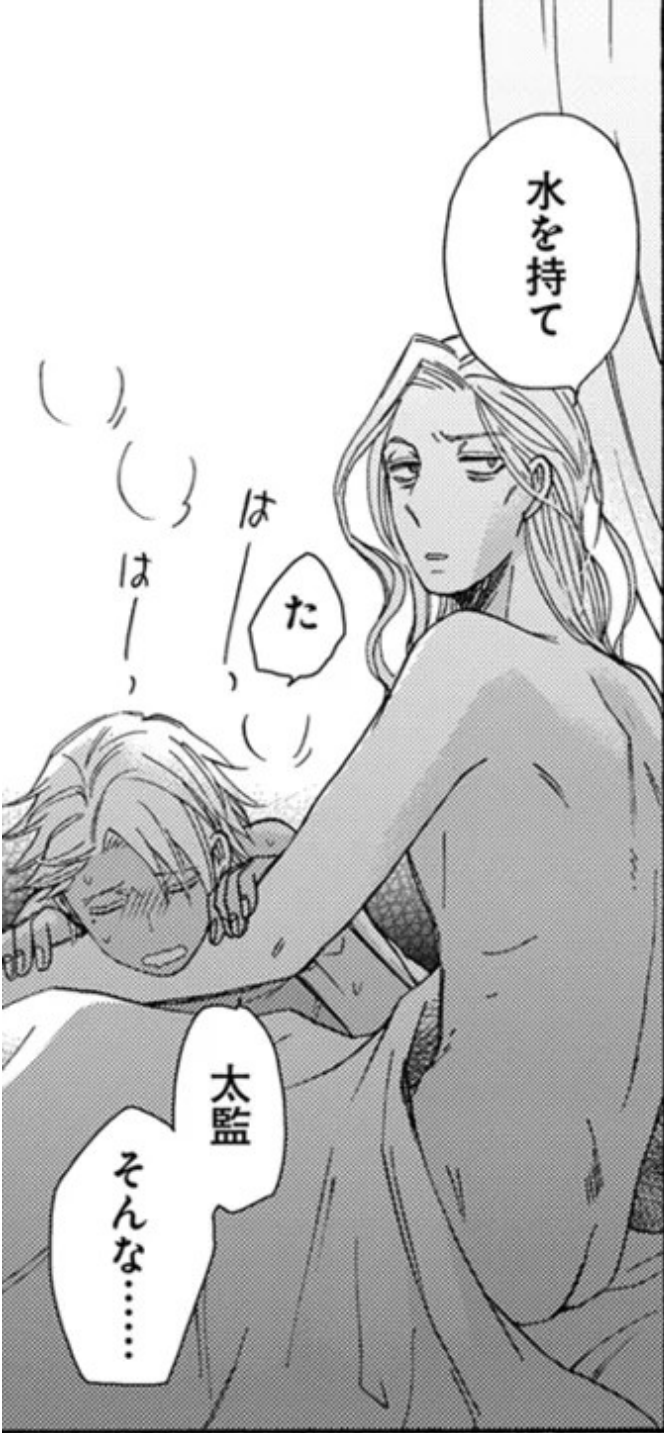
生えてくるん  
ですよ!!

アレが!!

テッ!!!

テッ!!!

テッ!!!



水を持って

は  
た

太監

そんな……



……

なんです  
その目は

腹立つ



太監への  
贈り物ですけど  
私が頼めば  
下げ渡して  
頂けるでしょう

ホホホホ  
ニ

そんなんで  
生えんの  
かな……

誰か!



士良<sup>シリロウ</sup>  
こんな時まで  
役職で  
呼ぶ奴があるか

……っ

かあ



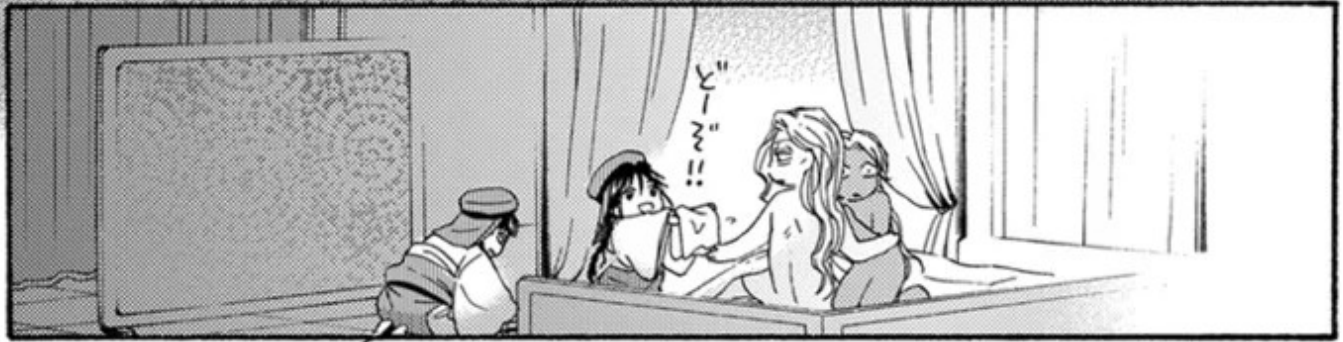
お待ちせ  
しましたっ!

寧様……



……ね……

ねい……



どろろ!!



今夜の  
不寝番は  
お前達か……

ご存知だった  
でしょうに  
ふふ



カイエン  
海燕!?

ん?

うん!



...アリガト...

邪気の

不憫だ

海燕っ  
これは  
そのお...  
そーゆーのじゃ  
なくてな  
アレでなっつ

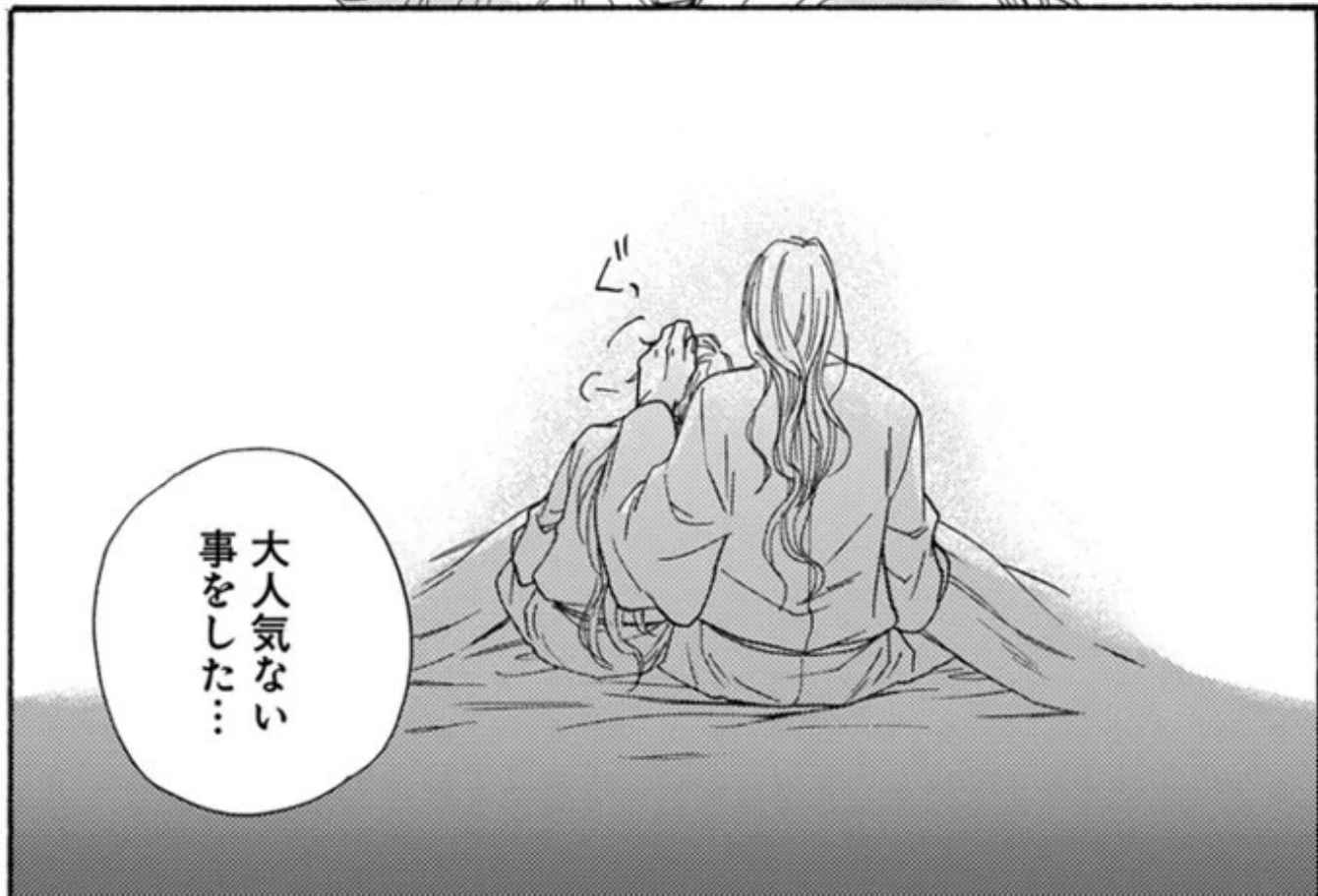
あわっ  
あわ  
?

ダメだよ二哥哥ちゃん  
拭いて差し上げないと

ご奉仕  
頑張っつてねっ!!

...そんなに  
哀しい顔を  
するな







勝手にさあつ  
贈り物を…

いいんです

えーっ  
いいの!?

ううの!?

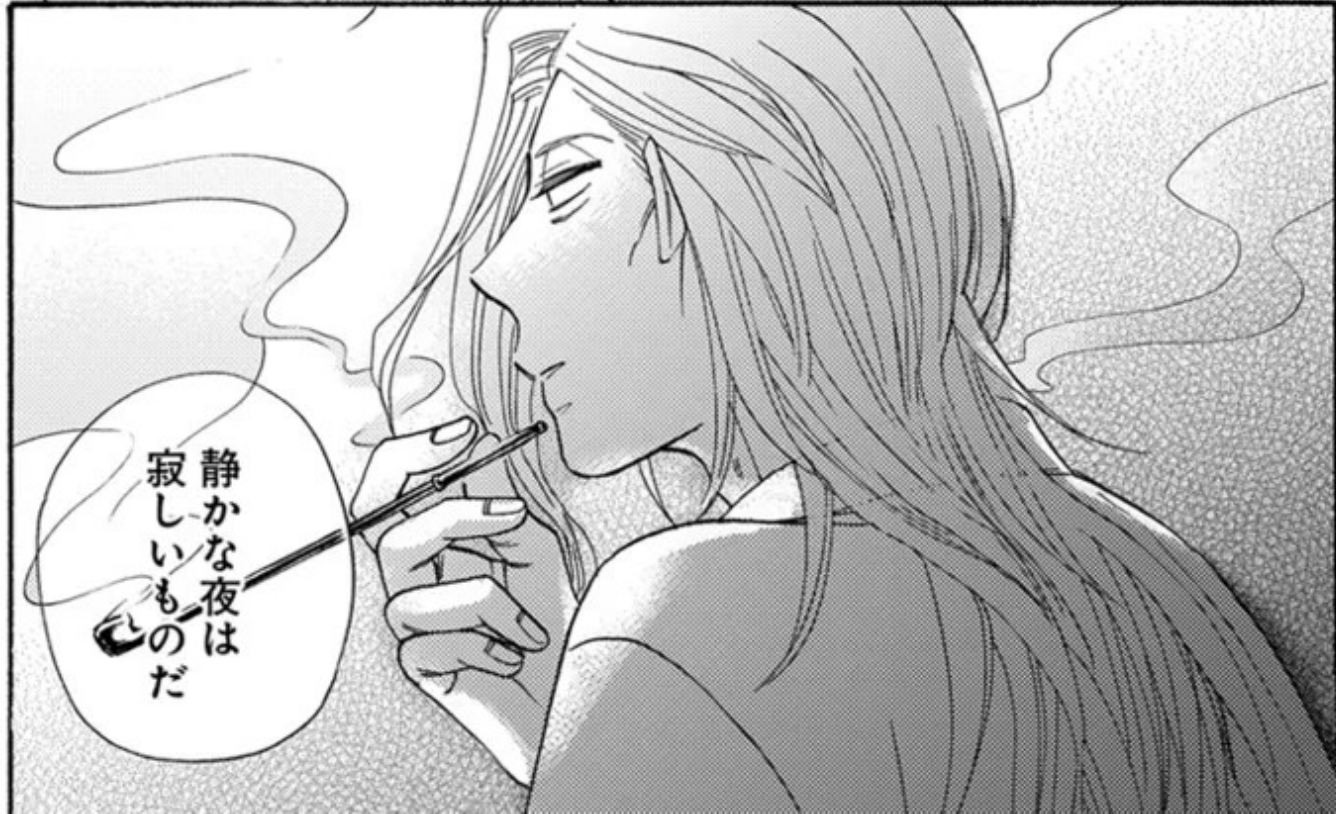


私は  
楊太監の  
甥です

おほ  
ほほ

身内の好で  
許して  
もらうんですっ

わあ  
やな奴う





—  
夜



今は……



部屋に  
呼ばれるのが  
怖かった

何を  
されるんだろうと  
ビクビクしてた



終



# 宦官覚書

ご購入有難う  
ございます！

参考文献  
葛金芳著「宦官」徳間文庫  
三田村泰助著「宦官」中公新書

はじめまして、  
日野と申します。  
「偽りの宦官」を  
お手に取って頂き、  
有難うございます！

今回の漫画は  
私が趣味で発行していた  
同人誌を、電子配信に  
して頂きました。  
こちらのおまけ漫画は  
イベントペーパーとして  
配布したものです。

未熟ではありますが、  
少しでも楽しんで  
頂ければ、本当に  
嬉しく思います。





## 偽りの宦官【皇帝と宦官シリーズ-番外編1-】

2017年6月1日 電子第1版発行

---

著 者 日 野 晶

© Akira Hino 2017

発行者 太 田 歳 子

発行所 株 式 会 社 リ ブ レ

〒 162-0825 東京都新宿区神楽坂 6-46  
ローベル神楽坂ビル  
電話 営業 03(3235)7405

※本書は商業誌未発表作品を電子書籍化したものです。

---

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件等とは一切関係ありません。  
本書の一部、あるいは全部を無断で複製複写（コピー、スキャン、デジタル化等）、転載、  
上演、放送することは法律で特に規定されている場合を除き、著作権者・出版社の権利の  
侵害となるため、禁止します。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル  
化することは、たとえ個人や家庭内で利用する場合であっても一切認められておりません。